

平成 29 (2017) 年度後期 学生による授業評価アンケート 分析報告書

平成 30 年 7 月 25 日

國學院大學

教育開発推進機構 教育開発センター

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

平成 29 年度後期学生による授業評価アンケート分析報告書の刊行に寄せて

教育開発センター長

柴崎 和夫

平成 29 年度後期実施の授業評価アンケート分析報告書が完成いたしましたので、皆様にお届けいたします。授業評価アンケートの分析報告書としては、原則として、これまでに刊行されたものと、基本的には同じになっています。

今回は、アンケート実施方法が完全 Web 化されて 5 回目のアンケート実施でした。前回、若干ではあるものの上向いた回答率ですが、今回はまた漸減しています。回答率の向上には、授業時間内で教員が学生に回答を呼びかけること（回答時間の確保）が最も有効であることが、パイロットスタディから判明しています。回答率があまりにも低い状況ですと、分析にも種々の制約が生じてしまいます。教育開発推進機構では今後も教員への呼びかけを続けるとともに、授業評価アンケートの性格上問題のない範囲で、回答率向上の策を、練っていきたいと思います。

毎回同じ事を述べていますが、教員が自身の授業内容・授業方法・授業計画の振り返りを行うときに、他者の目は大変重要です。それが、授業を受けている学生目であるのですから、学生による授業評価アンケートは授業の振り返りに資する部分が一層大きいと考えられます。謙虚に分析報告書の結果を眺め、ご自身の授業改善、新たな授業計画作成に役立てていただきたいと思います。

授業評価アンケートは、学生の協力があって実施できています。協力してくれた学生への説明責任を果たすという意味でも、学生の評価結果、それを受けての教員の取り組み状況について、明らかにしていく必要があると考えています。繰り返しになりますが、どうぞ教員の方々は、分析結果を有効に利用していただきたいと思います。

目 次

平成 29 年度後期学生による授業評価アンケート分析報告書の刊行に寄せて	3
1. 調査の概要	7
1-1 調査目的	9
1-2 調査方法	9
1-3 調査対象科目	9
1-4 調査期間	10
1-5 回答率	10
1-6 回答の内訳	10
1-7 授業科目の母体及び専任・兼任別にみた回答率	11
1-8 設問	12
2. 集計結果	13
2-1 設問別集計（開講科目の所属別に集計）	15
2-2 専任及び兼任教員の到達目標の達成度・満足度順位（ベスト30）	25
2-3 達成目標の到達度・満足度・授業外学修時間で見た教員の分布	32
3. 考察（1）設問間のクロス表分析	35
3-1 全体集計	37
3-2 シラバスの確認状況（Q4）	38
3-3 学生の予習・復習と到達目標の達成度との関係（Q10とQ13）	39
3-4 授業の進め方と到達目標の達成度合い（Q9とQ13）	40
3-5 教員の所属別にみた教員の指示と学生の授業に対するかまえとの関係（Q6とQ10）	41
4. 考察（2）本学学士課程教育の授業外学修時間の現状	43
4-1 学士課程全体	45
4-2 回答学生の所属学部別	46
4-3 回答学生の所属学科別	47
4-4 回答学生の学年・所属学部別	48
4-5 回答学生の学年・所属学科別	49
4-6 授業外学修時間の状況：経年変化	50
4-7 授業外学修時間の状況：学生所属でみた学部別分布の経年比較	51
4-8 学生の授業に対するかまえと授業外学修時間	52
4-9 学生の授業に対するかまえと到達目標の達成度による分析	53
4-10 学生の授業に対するかまえと到達目標の達成度からみた授業外学修時間の分布	54
6. まとめ	59
資料編	65

集計データ.....67

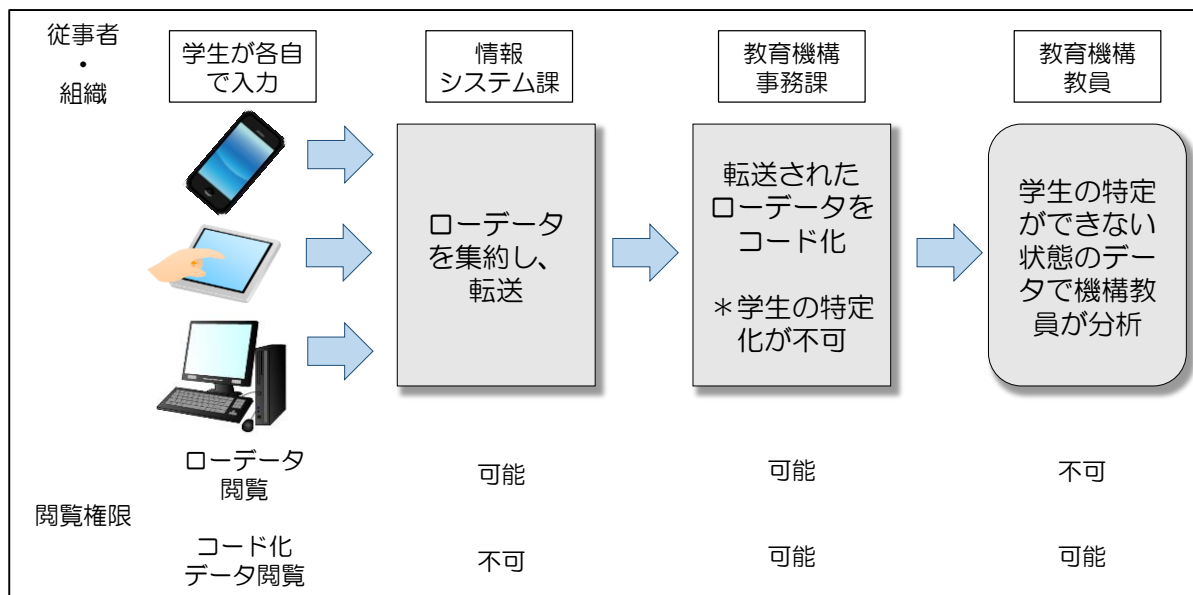
1. 調査の概要

1-1 調査目的

本学学生の授業に対する取り組みの実態を把握し、授業改善の基礎資料とすること、さらには基礎資料の活用により教員に自らの授業運営を振り返る機会を提供することで、学修効果を改善させ、本学学士課程教育の質保証を達成することを目的とする。

1-2 調査方法

- 本学の学生支援システムであるK-SMAPY を用いた WEB 上での実施
- K-SMAPY での実施に伴い配慮すべき学生に関する個人情報の管理については、教育開発センター委員会での議論に従い、細心の注意を払う体制を構築する。
- 具体的な調査手順、体制は、以下のとおり。



平成 29 年度前期授業評価アンケートの実施方法と各課職員及び教員の役割

1-3 調査対象科目

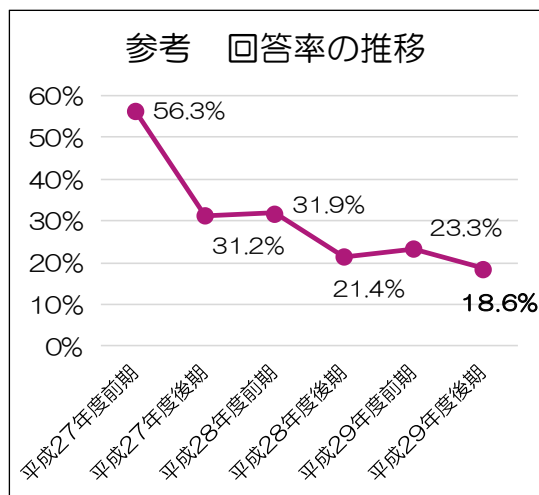
- 原則、全授業科目を対象とするが、下記の授業科目については、実施を見送った。
 - 卒業論文指導科目
 - 政治インターンシップ
 - インターンシップⅡ
 - 教育実習ⅠB（事後指導）
 - 博物館実習Ⅲ（実地見学）
 - その他、サマーセッション等の集中講義科目

1-4 調査期間

平成 29 年 12 月 19 日（火）～平成 30 年 1 月 22 日（月）

1-5 回答率

回答件数	17,990 件
履修登録者数	96,664 件
回答率	18.6%



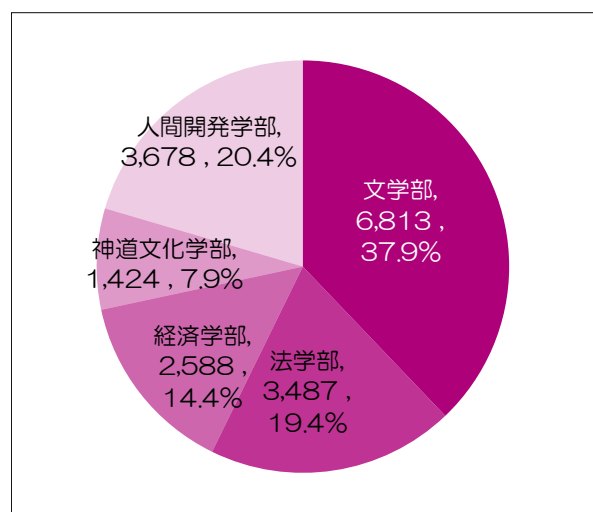
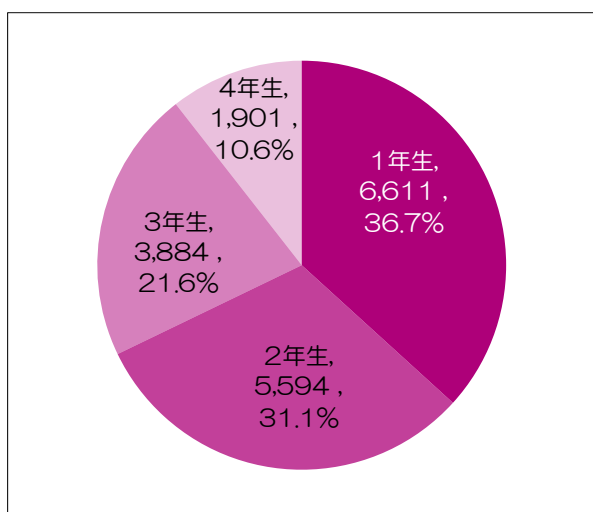
1-6 回答の内訳

回答した学生の学年

1年生	6,611 件
2年生	5,594 件
3年生	3,884 件
4年生	1,901 件

回答した学生の所属学部

文学部	6,813 件
法学部	3,487 件
経済学部	2,588 件
神道文化学部	1,424 件
人間開発学部	3,678 件



1-7 授業科目の母体及び専任・兼任別にみた回答率

科目供出母体等	回答率	回答者数	登録者数
文学部（全体）	16.9%	4,686 件	27,648 件
文学部（専任）	17.1%	2,148 件	12,593 件
文学部（兼任 含兼担）	16.9%	2,538 件	15,055 件
法学部（全体）	14.6%	2,057 件	14,122 件
法学部（専任）	13.1%	897 件	6,823 件
法学部（兼任 含兼担）	15.9%	1,160 件	7,299 件
経済学部（全体）	11.6%	1,679 件	14,455 件
経済学部（専任）	9.6%	867 件	9,046 件
経済学部（兼任 含兼担）	15.0%	817 件	5,409 件
神道文化学部（全体）	15.4%	1,181 件	7,661 件
神道文化学部（専任）	16.9%	718 件	4,250 件
神道文化学部（兼任 含兼担）	13.6%	463 件	3,411 件
人間開発学部（全体）	25.6%	3,288 件	659 件
人間開発学部（専任）	28.1%	2,273 件	207 件
人間開発学部（兼任 含兼担）	21.3%	1,015 件	452 件
教育開発推進機構（全体）	23.0%	659 件	2,870 件
教育開発推進機構（専任）	55.9%	207 件	370 件
教育開発推進機構（兼任 含兼担）	18.1%	452 件	2,500 件
語学・スポーツ・資格等	25.4%	4,440 件	17,497 件
語学・スポーツ・資格等（専任）	34.2%	683 件	1,998 件
語学・スポーツ・資格等（兼任 含兼担）	24.2%	3,757 件	15,499 件
合 計	18.5%	17,990 件	97,097 件
専任	18.1%	7,793 件	43,168 件
兼任（含兼担）	18.9%	10,197 件	53,929 件

1-8 設問

平成 29 年度後期学生による授業評価アンケート設問項目一覧

設問 番号	設 問 項 目
1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。
2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。
3	教員の板書や教材（配布資料や映像・情報機器等）の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。
4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。
5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。
6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。
7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。
8	1 回 1 回の授業ごとに学ぶべき内容（単元）が整理されていましたか。
9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。
10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。
11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。
12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。
13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。
14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。
15	あなたはこの授業 1 回あたり、平均して何分の授業外学修（予習復習課題等）時間をとりましたか。 *0 分から 300 分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95
16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。
17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。

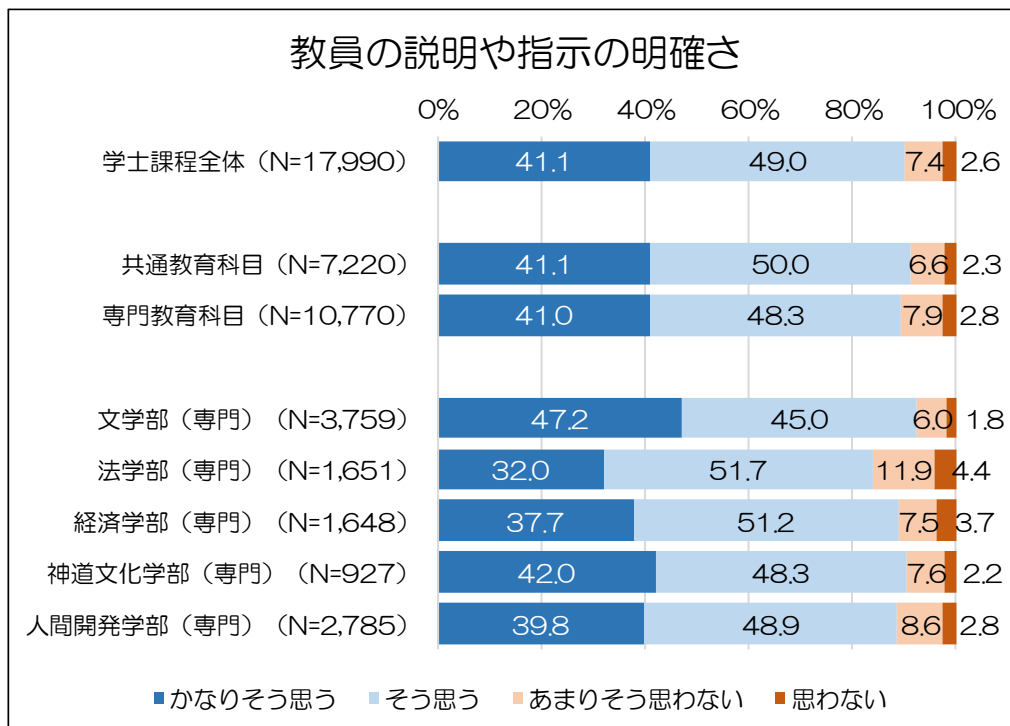
（注意）

- 設問 1～14 までは 4 件法の選択回答（必須回答）
- 選択肢は以下のとおり
1：思わない 2：あまりそう思わない 3：そう思う 4：かなりそう思う
- 設問 15 は実数値を 0～300 分の範囲内で入力
- 設問 16 及び 17 は自由記述形式

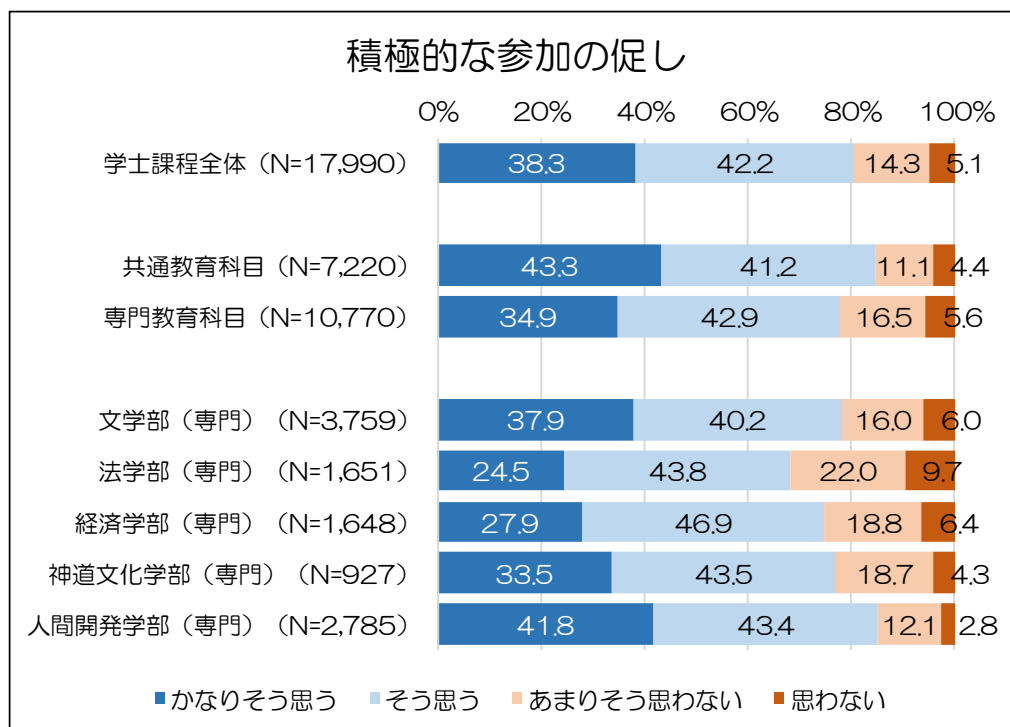
2. 集計結果

2-1 設問別集計（開講科目の所属別に集計）

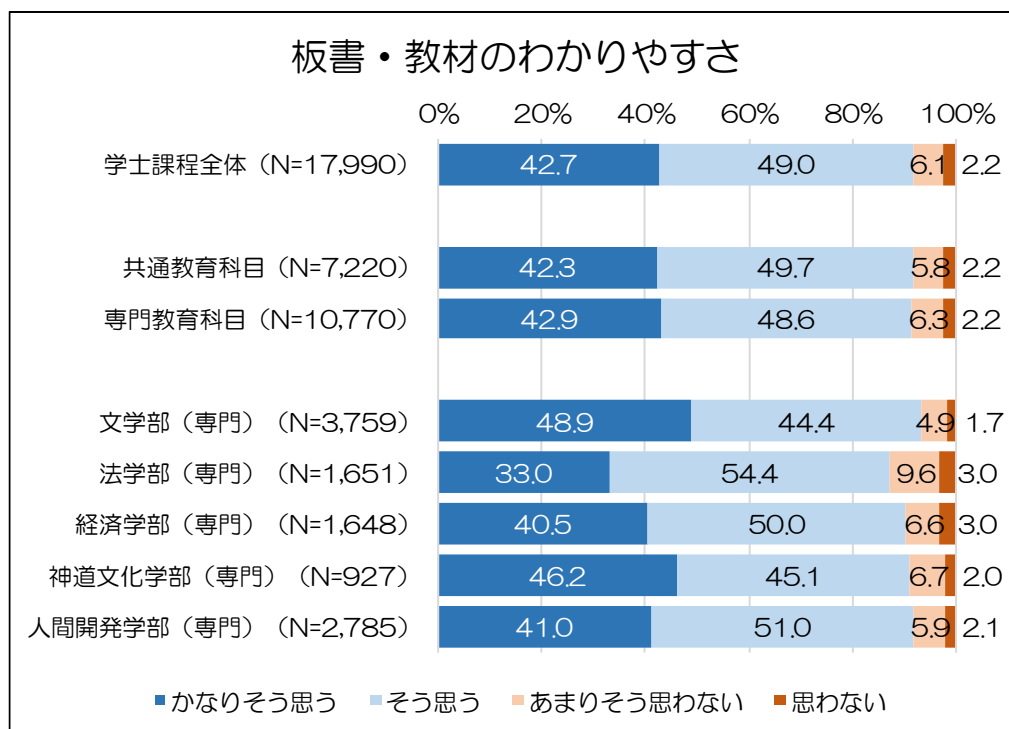
Q1 教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。



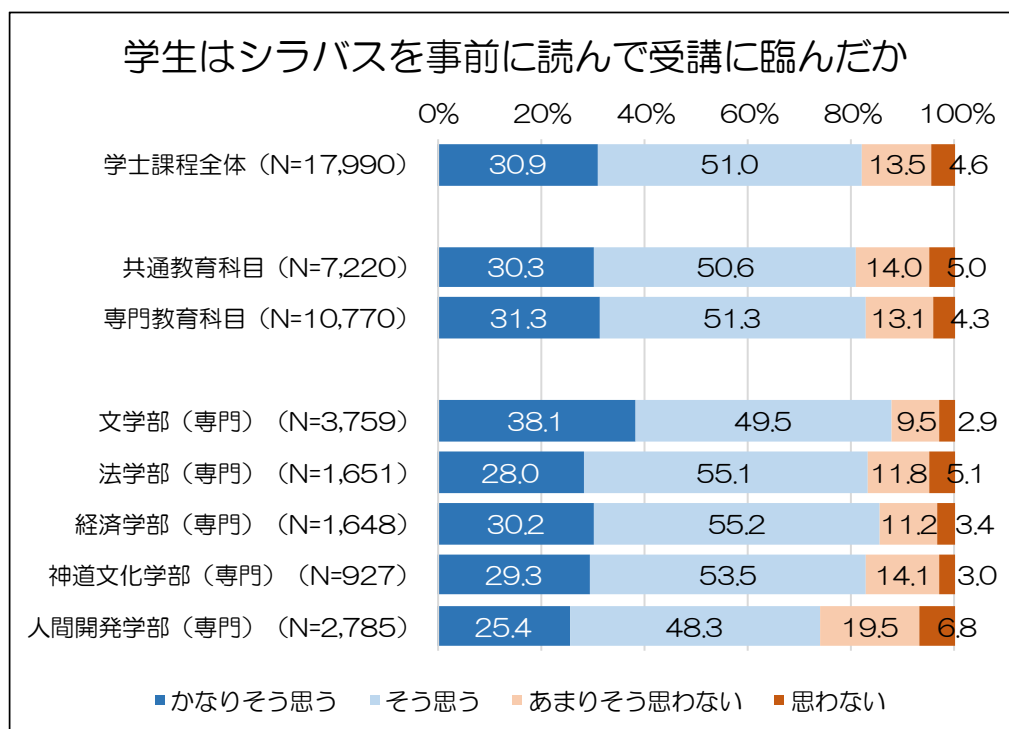
Q2 教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。



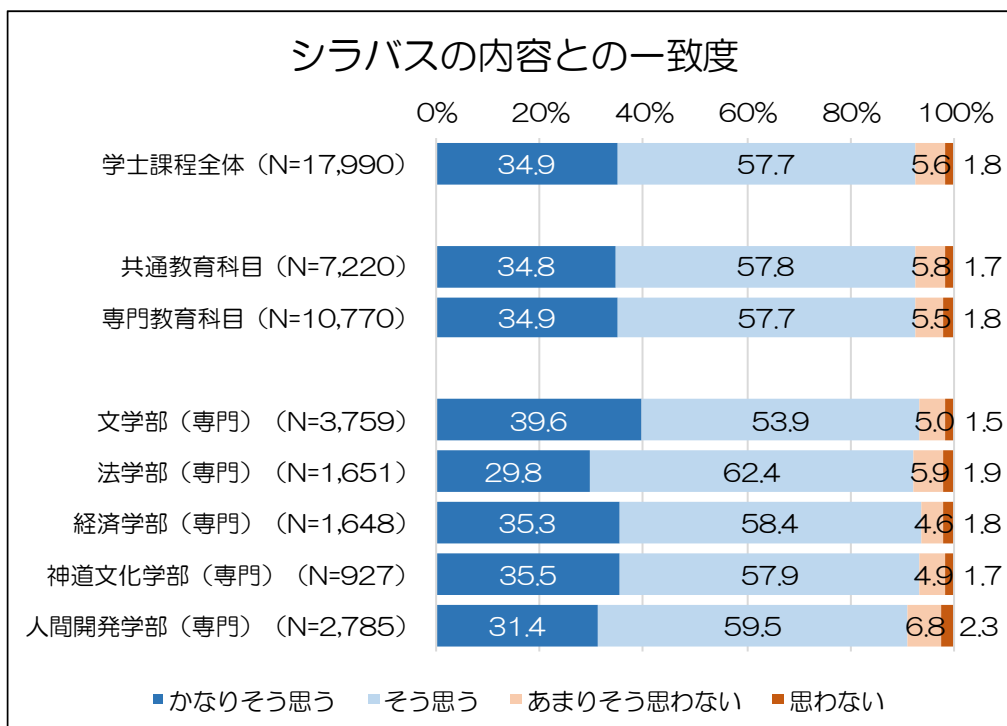
Q3 教員の板書や教材（配布資料や映像・情報機器等）の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。



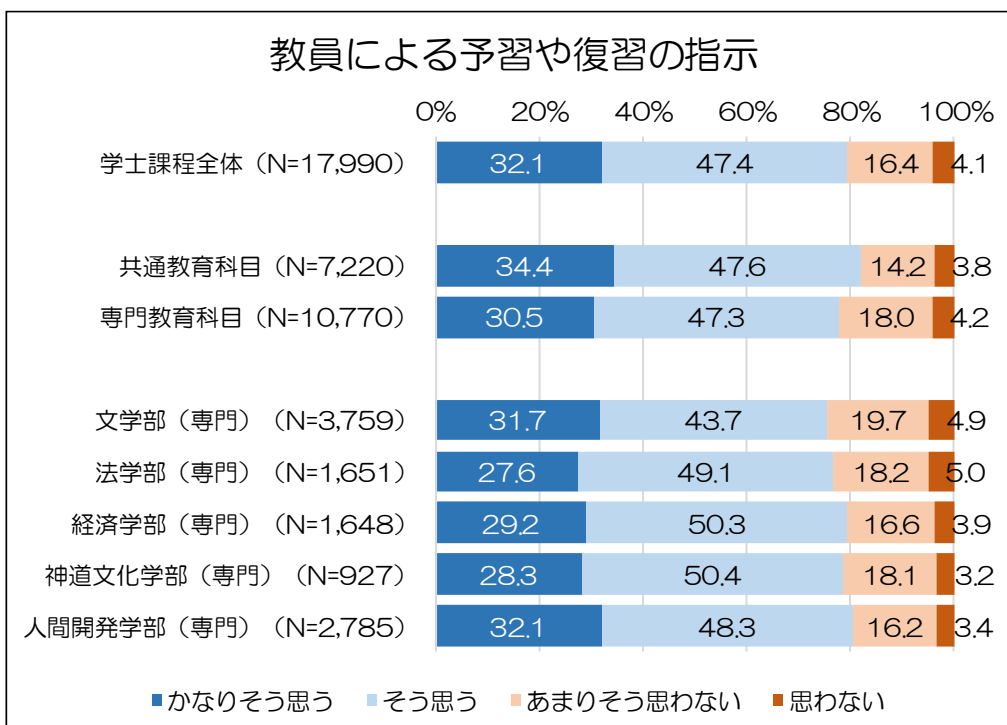
Q4 あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。



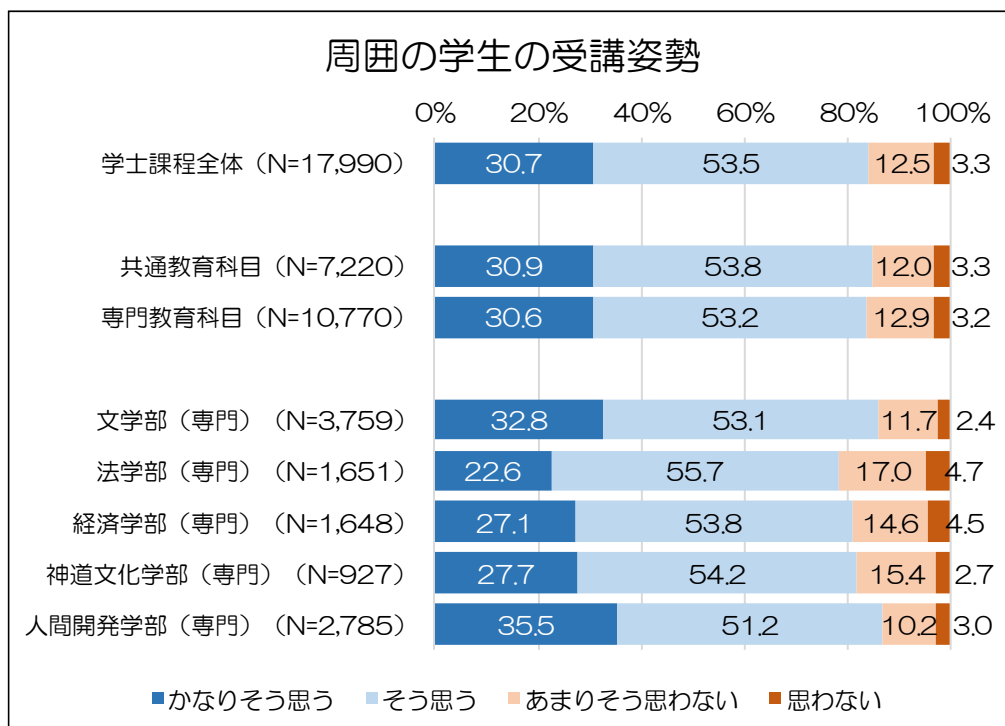
Q5 教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。



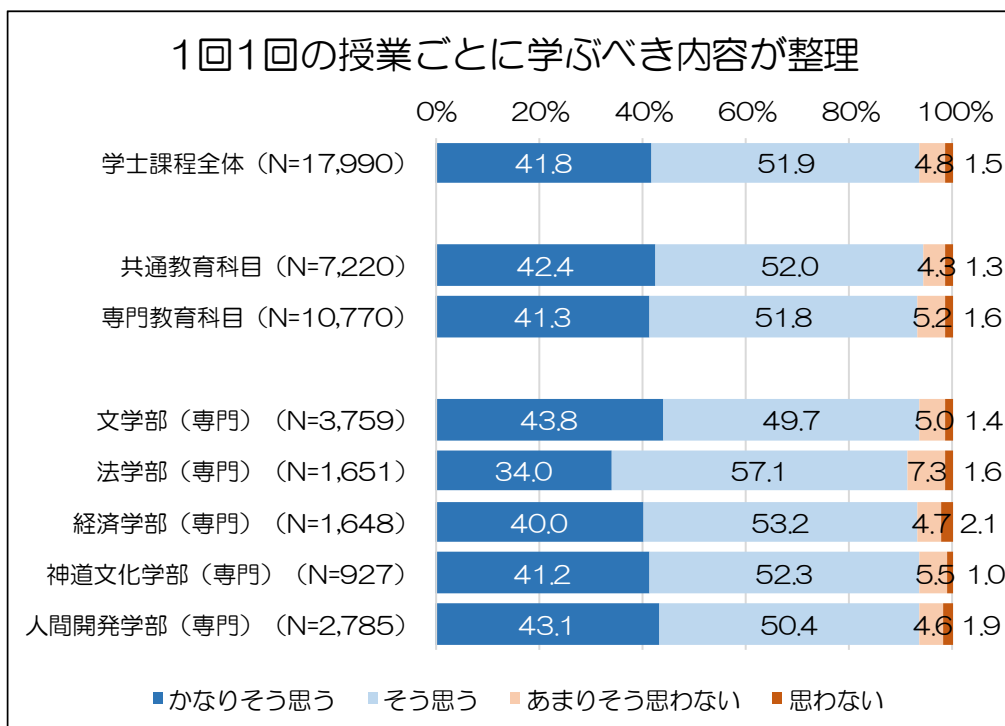
Q6 教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。



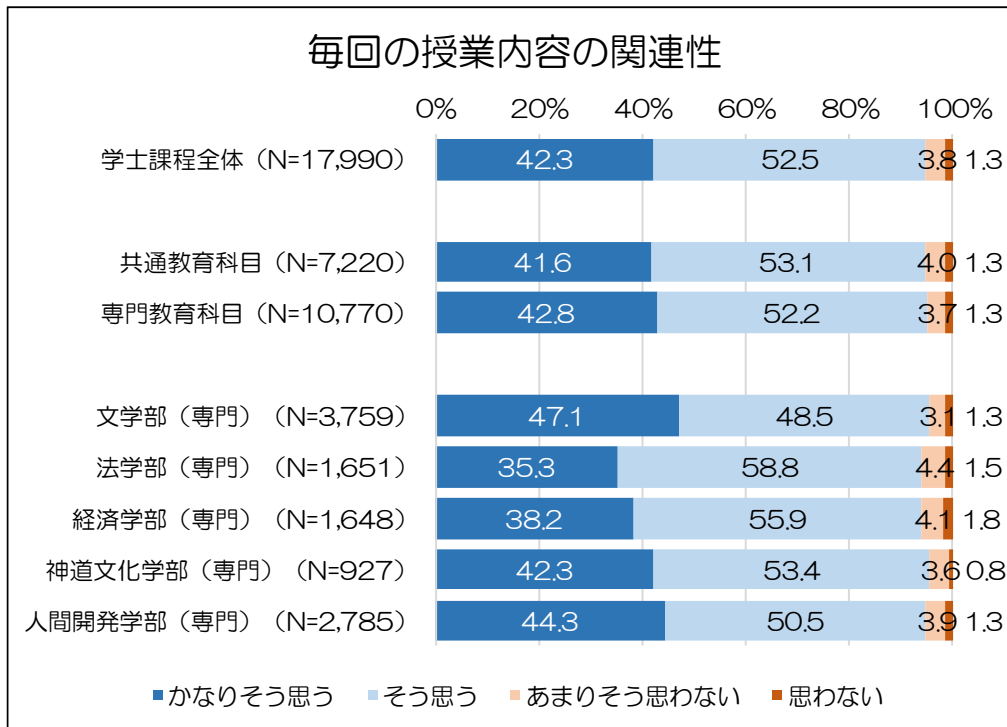
Q7 あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。



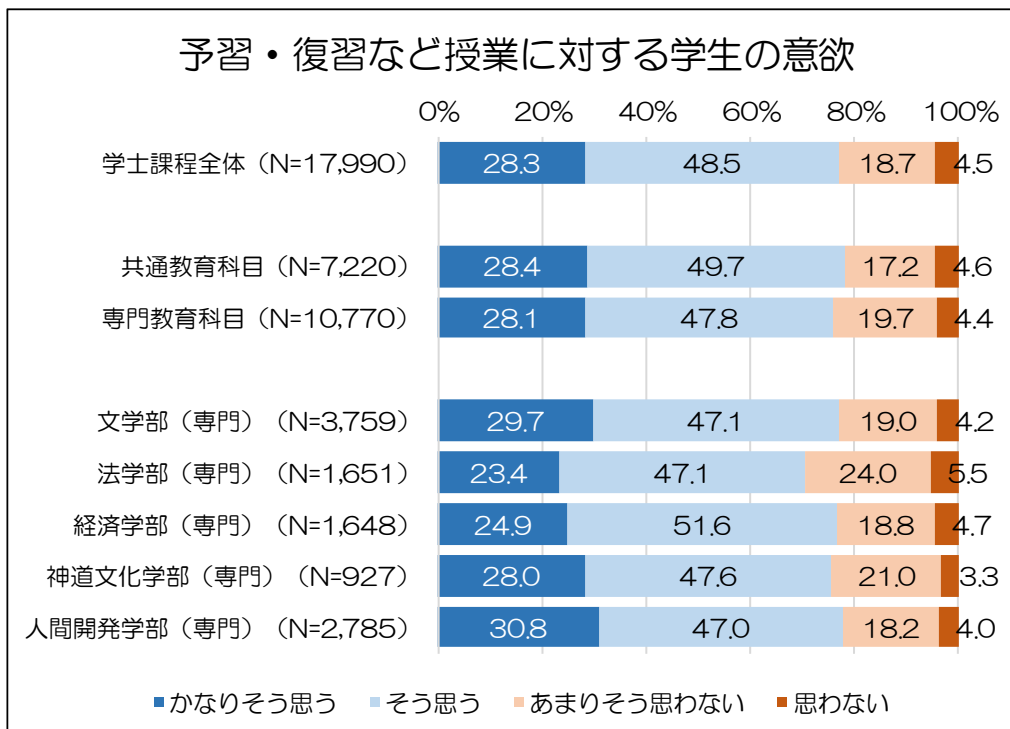
Q8 1回1回の授業ごとに学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。



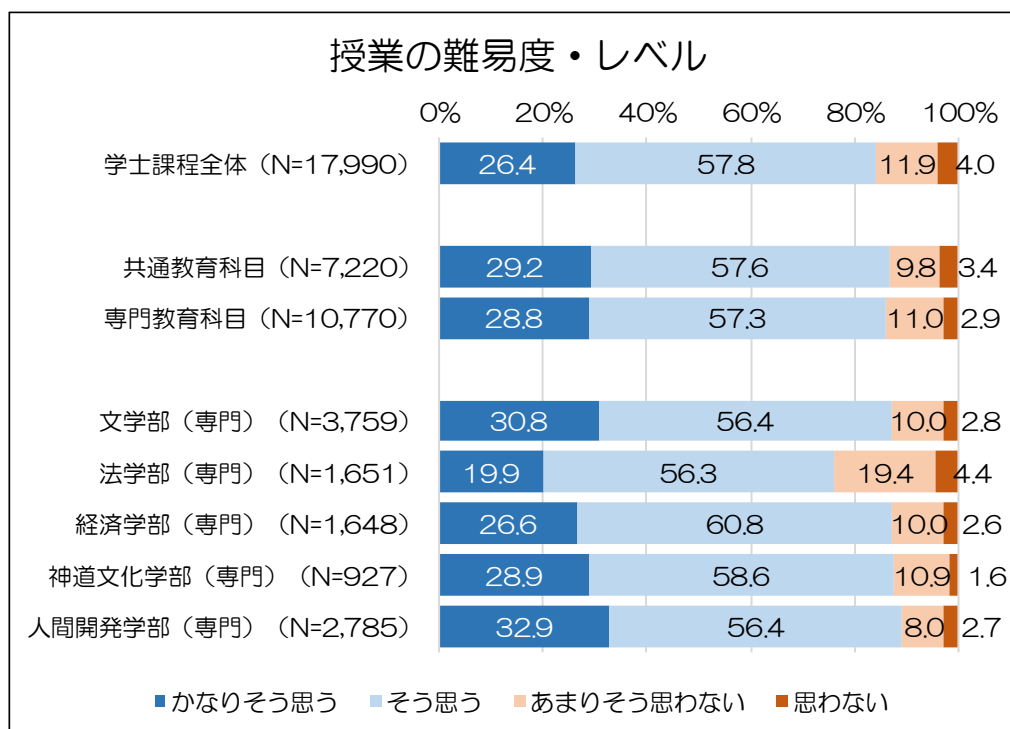
Q9 毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。



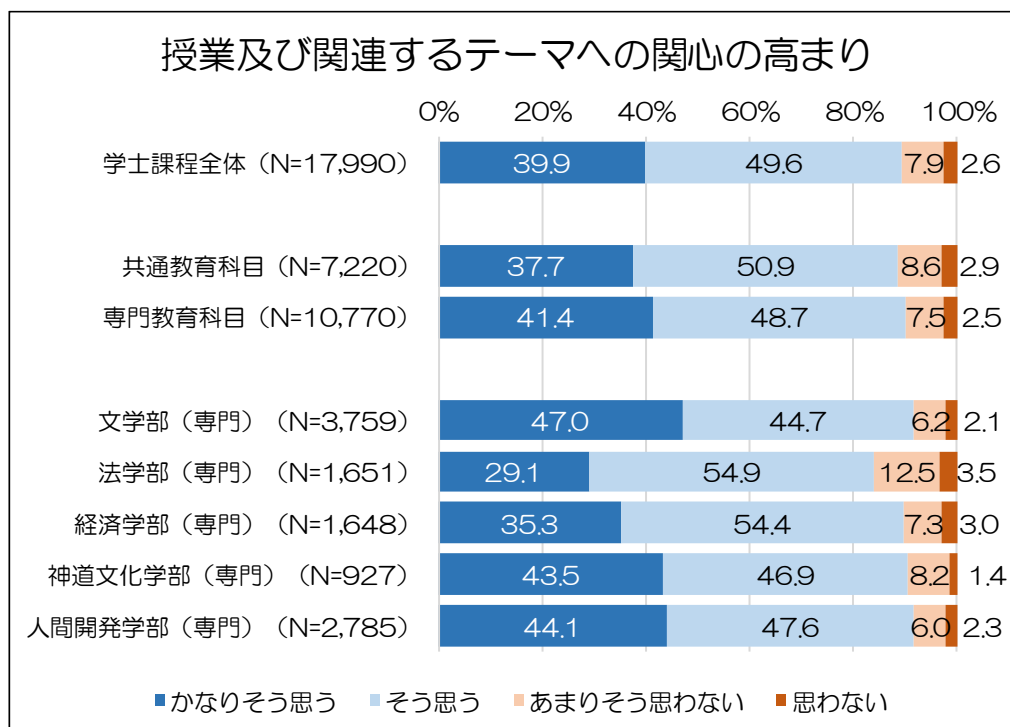
Q10 あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。



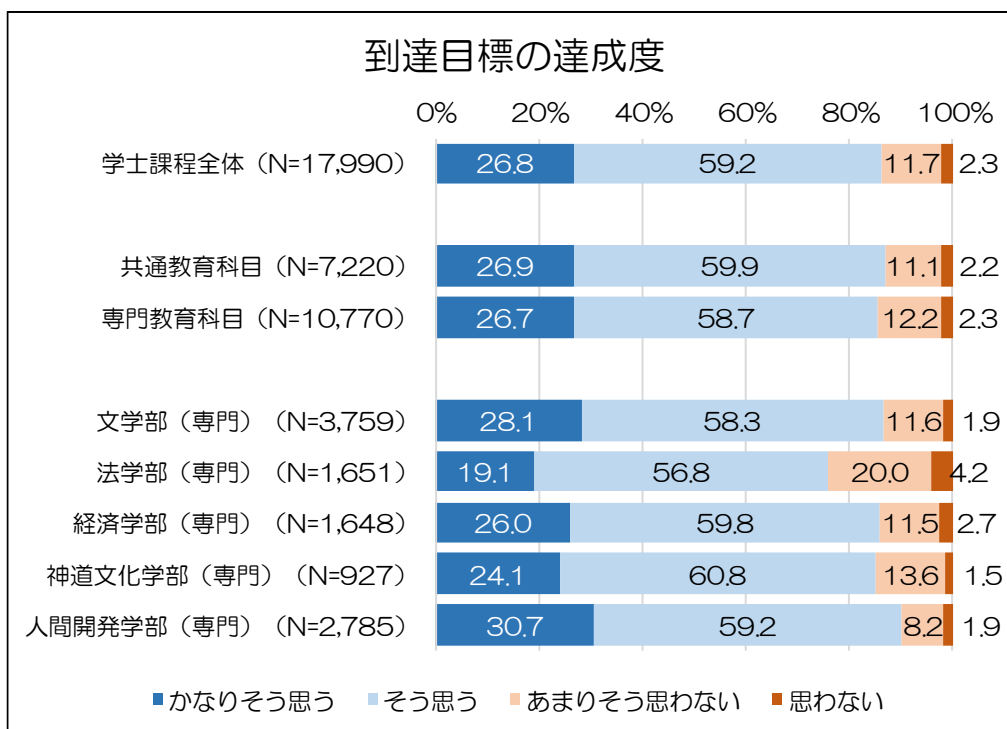
Q11 あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。



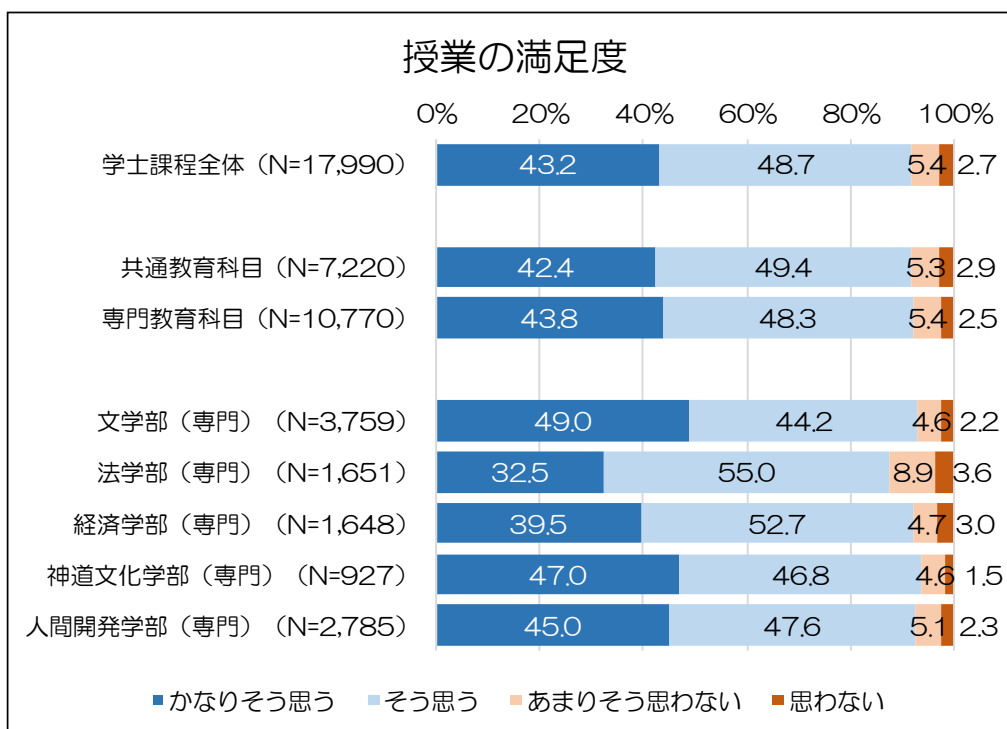
Q12 この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。



Q13 あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。



Q14 あなたはこの授業を履修して良かったですか。



集計結果の総評

- 本学の授業評価アンケートは、従前のおり、全部で 17 の設問から成り立っています。
- 設問の構成は、大別して 2 つに区分できます。Q1～Q3 と Q5～Q6、Q8～Q9 が、教員を対象に授業運営の観点から尋ねた設問で、それ以外の設問が、学生を対象に授業を受講しての意識という観点から尋ねた設問となっています。
- それぞれの設問について、授業科目の区分にしたいが、3 つの区分で回答を集計しました。集計区分は、(1) 学士課程全体 (全回答)、(2) 共通教育科目と専門教育科目、(3) 学部別に見た専門教育科目、です。それでは順に各設問の結果をみてみましょう。
- Q1 は、「教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか」です。肯定回答(「かなりそう思う」と「そう思う」の合計)は、学士課程全体で 90.1%でした。またどの集計区分でも 80%を超える結果となりました。
- Q2 は、「教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で 80.5%でした。学部別(専門教育科目)で見ると、文学部で 78.1%、法学部で 68.3%、経済学部で 74.8%、神道文化学部で 77.0%、人間開発学部で 85.2%でした。学部間で分布に幅がある実態が確認できました。
- Q3 は、「教員の板書や教材(配布資料や映像・情報機器等)の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で 91.7%でした。本設問では、どの集計区分でも肯定回答が 90%前後であることが確認できました。
- Q4 は、「あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で 81.9%でした。学部別で見ると、文学部で 87.6%、法学部で 83.1%、経済学部で 85.4%、神道文化学部で 82.8%、人間開発学部で 73.7%となり、人間開発学部でやや割合が小さい結果となりました。

- Q5 は、「教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で 92.6%でした。本設問では、どの集計区分でも肯定回答が 90%を超えている実態が確認できました。
- Q6 は、「教員は予習・復習に関する指示を出していましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で 79.5%でした。順に見ると、共通教育科目が 82.0%、専門教育科目が 77.8%、文学部が 75.4%、法学部が 76.7%、経済学部が 79.5%、神道文化学部が 78.7%、人間開発学部が 80.4%でした。本設問では、多くの集計区分で肯定回答の割合が 80%を下回る結果となりました。
- Q7 は、「あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で 84.2%でした。学部別では、文学部、経済学部、神道文化学部、人間開発学部は 80%を超えましたが、法学部では 80%未満という結果になりました。
- Q8 は、「1 回 1 回の授業ごとに学ぶべき内容（単元）が整理されてい了吗」です。肯定回答は、学士課程全体で 93.7%でした。学部別に見ても、どの学部でも 90%を超えていました。
- Q9 は、「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められてい了吗」です。肯定回答は、学士課程全体で 94.8%でした。またこれも Q8 と同様に、すべての集計区分で肯定回答が 90%を超える結果となりました。
- Q10 は、「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で 76.8%でした。また他のどの集計区分を見ても、肯定回答が 80%を下回る結果となりました。学部別に結果を見ると、文学部で 76.8%、法学部で 70.5%、経済学部で 76.5%、神道文化学部で 75.6%、人間開発学部で 77.8%という結果になりました。
- Q11 は、「あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか」です。肯定回答は、学士課程全体で 84.2%でした。他の集計区分をみると、法学部のみ肯定回答が 80%を下回る結果（76.2%）となりました。

- Q12は、「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で89.5%でした。どの集計区分でも肯定回答は80%を超えていましたが、「かなりそう思う」だけに注目すると、法学部は29.1%と、他の学部比べて相対的に低い結果となりました。
- Q13は、「あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか」です。肯定回答は、学士課程全体で86.0%でした。学部別にみると、法学部以外は、どの集計区分でも80%を超えていました。ただし肯定回答のうち、「かなりそう思う」だけに注目すると、人間開発学部を除き30%を下回る結果となり、「そう思う」が60%程度を占めていたことがわかりました。
- Q14は、「あなたはこの授業を履修して良かったですか」です。肯定回答は、学士課程全体で91.9%でした。どの集計区分で見ても、肯定回答が90%前後であったことがわかりました。

- 以上、各設問について集計結果から明らかになったことを簡潔に整理しました。集計結果によれば、これまでの学生による授業評価アンケートの結果と同様に、本学の授業は概ね肯定回答が多くを占める傾向にあることが確認できました。
- ただしこれもこれまでのアンケート結果と同様ですが、設問のうち肯定回答が80%を下回った設問が、複数確認される結果となりました。具体的にはQ6「教員は予習・復習に関する指示を出していましたか」、Q10「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか」などです。前回調査時は上記の他にも2つの設問項目で80%を下回っていました。それと比べると、平成29年度後期は、同前期より授業評価アンケートの結果が好転したとも言えそうです。

2-2 専任及び兼任教員の到達目標の達成度・満足度順位（ベスト30）

【算出方法】

1) 教員が担当した授業科目のアンケート結果を1つに集計。

例

教員名	授業科目名	回答数
國學 太郎	國學院の歴史	21
國學 太郎	神道精神	11
國學 太郎	日本の伝統	38
こくびょん	文学概論	14
こくびょん	日本文学入門	6



教員名	回答数
國學 太郎	70
こくびょん	20

2) 上記の集計をした後、合計回答数が50人以上の教員を対象とする。

例

教員名	回答数	
國學 太郎	70	← 対象
こくびょん	20	← 対象外

3) 到達目標の達成度はQ13、満足度はQ14の回答結果から、点数化。

例

國學太郎先生の場合（到達目標の達成度・満足度ともに同様の計算式とする）

教員氏名：國學 太郎	回答数	配点	回答数×配点＝点数
かなりそう思う	15件	4点	60点
そう思う	30件	3点	90点
あまりそう思わない	22件	2点	44点
そう思わない	3件	1点	3点
合計	70件		197点

到達目標の達成度または満足度点数 $197 \div 70 = \underline{2.814}$ 点

4) 上記の到達目標の達成度または満足度点数の高い順に、ベスト30教員を選出

到達目標の達成度ベスト 30（専任教員）

順位	教員氏名	回答件数	回答率	得点	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
1	杉田洋	105	65.2%	3,562	57.1%	41.9%	1.0%	0.0%
2	村上佳司	181	74.5%	3,541	56.4%	42.5%	0.0%	1.1%
3	針谷壮一	91	45.7%	3,495	56.0%	39.6%	2.2%	2.2%
4	川田裕樹	52	30.1%	3,481	51.9%	44.2%	3.8%	0.0%
5	飯倉義之	66	19.1%	3,455	50.0%	45.5%	4.5%	0.0%
6	坂本正徳	71	64.0%	3,408	42.3%	56.3%	1.4%	0.0%
7	田嶋一	185	66.8%	3,405	46.5%	48.6%	3.8%	1.1%
8	高橋幸子	110	74.3%	3,364	39.1%	59.1%	0.9%	0.9%
9	齋藤智哉	113	61.4%	3,354	39.8%	55.8%	4.4%	0.0%
10	高橋昌一郎	416	36.8%	3,349	37.0%	61.1%	1.7%	0.2%
11	高山真琴	118	84.9%	3,347	43.2%	49.2%	6.8%	0.8%
12	東海林孝一	60	49.2%	3,333	38.3%	56.7%	5.0%	0.0%
13	高山実佐	78	47.9%	3,308	38.5%	53.8%	7.7%	0.0%
14	鈴木道代	100	48.1%	3,250	29.0%	67.0%	4.0%	0.0%
15	大津直子	112	50.0%	3,223	31.3%	61.6%	5.4%	1.8%
16	吉永安里	64	33.0%	3,219	23.4%	75.0%	1.6%	0.0%
17	石川則夫	57	85.1%	3,211	24.6%	71.9%	3.5%	0.0%
18	笹生衛	82	41.8%	3,183	28.0%	62.2%	9.8%	0.0%
19	中村正明	155	67.4%	3,181	26.5%	65.8%	7.1%	0.6%
20	茂木貞純	55	26.2%	3,164	29.1%	58.2%	12.7%	0.0%
21	田村学	118	44.5%	3,161	22.9%	71.2%	5.1%	0.8%
22	備前嘉文	75	38.3%	3,160	30.7%	58.7%	6.7%	4.0%
23	近藤良彦	61	35.3%	3,148	27.9%	59.0%	13.1%	0.0%
24	林和生	71	17.0%	3,141	23.9%	69.0%	4.2%	2.8%
25	成田信子	126	50.4%	3,135	27.0%	60.3%	11.9%	0.8%
26	吉岡孝	57	9.2%	3,105	21.1%	68.4%	10.5%	0.0%
27	渡邊卓	59	51.3%	3,085	28.8%	52.5%	16.9%	1.7%
28	神長美津子	103	35.8%	3,078	15.5%	76.7%	7.8%	0.0%
29	池田行伸	55	25.7%	3,073	18.2%	70.9%	10.9%	0.0%
30	青木豊	125	63.1%	3,064	16.0%	75.2%	8.0%	0.8%

到達目標の達成度ベスト 30（兼任教員）

順位	教員氏名	回答件数	回答率	得点	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
1	山形高司	56	34.8%	3,482	48.2%	51.8%	0.0%	0.0%
2	手島純	53	51.0%	3,415	47.2%	47.2%	5.7%	0.0%
3	流郷吐夢	54	65.9%	3,315	37.0%	57.4%	5.6%	0.0%
4	笠原悦夫	58	45.7%	3,310	36.2%	58.6%	5.2%	0.0%
5	岩崎博	55	68.8%	3,273	29.1%	69.1%	1.8%	0.0%
6	田中章義	59	59.0%	3,254	37.3%	54.2%	5.1%	3.4%
7	福井一喜	180	32.7%	3,217	28.3%	65.6%	5.6%	0.6%
8	白鳥和生	53	21.8%	3,208	26.4%	67.9%	5.7%	0.0%
9	三ツ矢眞紀	134	87.0%	3,187	26.1%	68.7%	3.0%	2.2%
10	辻本拓司	122	13.4%	3,180	27.0%	64.8%	7.4%	0.8%
11	矢崎弥	78	45.1%	3,179	26.9%	64.1%	9.0%	0.0%
12	田窪大介	102	19.0%	3,167	27.5%	64.7%	4.9%	2.9%
13	石原直美	53	70.7%	3,151	24.5%	67.9%	5.7%	1.9%
14	牧野由理	55	51.9%	3,109	21.8%	70.9%	3.6%	3.6%
15	川村信郎	60	20.1%	3,100	26.7%	56.7%	16.7%	0.0%
16	金久洋子	61	76.3%	3,098	19.7%	70.5%	9.8%	0.0%
17	中田健太郎	82	14.7%	3,085	28.0%	53.7%	17.1%	1.2%
18	小堀光夫	51	62.2%	3,078	17.6%	72.5%	9.8%	0.0%
19	スポーツ科学論担当教員（林・伊藤）	90	55.2%	3,056	17.8%	70.0%	12.2%	0.0%
20	関智弘	126	42.0%	3,032	18.3%	67.5%	13.5%	0.8%
21	櫻井大三	85	55.9%	3,012	17.6%	68.2%	11.8%	2.4%
22	スポーツ科学論担当教員（神事・伊藤）	151	46.9%	3,007	16.6%	68.9%	13.2%	1.3%
23	村井哲也	68	67.3%	3,000	22.1%	58.8%	16.2%	2.9%
24	西田洋平	74	72.5%	2,973	9.5%	79.7%	9.5%	1.4%
25	桶田和子	55	28.5%	2,964	14.5%	67.3%	18.2%	0.0%
26	藤原えりみ	54	8.8%	2,944	24.1%	51.9%	18.5%	5.6%
27	スポーツ科学論担当教員（神事・伊藤）	61	38.4%	2,934	14.8%	67.2%	14.8%	3.3%
28	大貫英明	109	64.1%	2,890	10.1%	71.6%	15.6%	2.8%
29	樋口政則	51	42.1%	2,863	5.9%	74.5%	19.6%	0.0%
30	嶋田英晴	62	19.9%	2,855	9.7%	71.0%	14.5%	4.8%

到達目標の達成度ベスト 30（総合：専任教員及び兼任教員）

順位	教員氏名	回答件数	回答率	得点	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
1	杉田洋	105	65.2%	3,562	57.1%	41.9%	1.0%	0.0%
2	村上佳司	181	74.5%	3,541	56.4%	42.5%	0.0%	1.1%
3	針谷壮一	91	45.7%	3,495	56.0%	39.6%	2.2%	2.2%
4	山形高司	56	34.8%	3,482	48.2%	51.8%	0.0%	0.0%
5	川田裕樹	52	30.1%	3,481	51.9%	44.2%	3.8%	0.0%
6	飯倉義之	66	19.1%	3,455	50.0%	45.5%	4.5%	0.0%
7	手島純	53	51.0%	3,415	47.2%	47.2%	5.7%	0.0%
8	坂本正徳	71	64.0%	3,408	42.3%	56.3%	1.4%	0.0%
9	田嶋一	185	66.8%	3,405	46.5%	48.6%	3.8%	1.1%
10	高橋幸子	110	74.3%	3,364	39.1%	59.1%	0.9%	0.9%
11	齋藤智哉	113	61.4%	3,354	39.8%	55.8%	4.4%	0.0%
12	高橋昌一郎	416	36.8%	3,349	37.0%	61.1%	1.7%	0.2%
13	高山真琴	118	84.9%	3,347	43.2%	49.2%	6.8%	0.8%
14	東海林孝一	60	49.2%	3,333	38.3%	56.7%	5.0%	0.0%
15	流郷吐夢	54	65.9%	3,315	37.0%	57.4%	5.6%	0.0%
16	笠原悦夫	58	45.7%	3,310	36.2%	58.6%	5.2%	0.0%
17	高山実佐	78	47.9%	3,308	38.5%	53.8%	7.7%	0.0%
18	岩崎博	55	68.8%	3,273	29.1%	69.1%	1.8%	0.0%
19	田中章義	59	59.0%	3,254	37.3%	54.2%	5.1%	3.4%
20	鈴木道代	100	48.1%	3,250	29.0%	67.0%	4.0%	0.0%
21	大津直子	112	50.0%	3,223	31.3%	61.6%	5.4%	1.8%
22	吉永安里	64	33.0%	3,219	23.4%	75.0%	1.6%	0.0%
23	福井一喜	180	32.7%	3,217	28.3%	65.6%	5.6%	0.6%
24	石川則夫	57	85.1%	3,211	24.6%	71.9%	3.5%	0.0%
25	白鳥和生	53	21.8%	3,208	26.4%	67.9%	5.7%	0.0%
26	三ツ矢真紀	134	87.0%	3,187	26.1%	68.7%	3.0%	2.2%
27	笹生衛	82	41.8%	3,183	28.0%	62.2%	9.8%	0.0%
28	中村正明	155	67.4%	3,181	26.5%	65.8%	7.1%	0.6%
29	辻本拓司	122	13.4%	3,180	27.0%	64.8%	7.4%	0.8%
30	矢崎弥	78	45.1%	3,179	26.9%	64.1%	9.0%	0.0%

注 塗りつぶしは兼任教員

満足度ベスト 30（専任教員）

順位	教員氏名	回答件数	回答率	得点	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
1	杉田洋	105	65.2%	3,848	84.8%	15.2%	0.0%	0.0%
2	飯倉義之	66	19.1%	3,773	80.3%	16.7%	3.0%	0.0%
3	村上佳司	181	74.5%	3,702	72.9%	25.4%	0.6%	1.1%
4	針谷壮一	91	45.7%	3,681	70.3%	28.6%	0.0%	1.1%
5	田嶋一	185	66.8%	3,681	71.4%	26.5%	1.1%	1.1%
6	井上明芳	99	79.8%	3,667	69.7%	28.3%	1.0%	1.0%
7	齋藤智哉	113	61.4%	3,646	66.4%	32.7%	0.0%	0.9%
8	石川則夫	57	85.1%	3,632	63.2%	36.8%	0.0%	0.0%
9	川田裕樹	52	30.1%	3,615	65.4%	30.8%	3.8%	0.0%
10	高山実佐	78	47.9%	3,615	64.1%	34.6%	0.0%	1.3%
11	東海林孝一	60	49.2%	3,567	56.7%	43.3%	0.0%	0.0%
12	高橋幸子	110	74.3%	3,564	59.1%	39.1%	0.9%	0.9%
13	大津直子	112	50.0%	3,563	59.8%	38.4%	0.0%	1.8%
14	高山真琴	118	84.9%	3,559	63.6%	30.5%	4.2%	1.7%
15	高橋昌一郎	416	36.8%	3,553	57.2%	41.3%	1.0%	0.5%
16	笹生衛	82	41.8%	3,549	56.1%	42.7%	1.2%	0.0%
17	坂本正徳	71	64.0%	3,535	54.9%	43.7%	1.4%	0.0%
18	吉永安里	64	33.0%	3,516	53.1%	45.3%	1.6%	0.0%
19	中村正明	155	67.4%	3,490	51.0%	47.7%	0.6%	0.6%
20	鈴木道代	100	48.1%	3,460	50.0%	47.0%	2.0%	1.0%
21	田村学	118	44.5%	3,449	51.7%	43.2%	3.4%	1.7%
22	近藤良彦	61	35.3%	3,426	45.9%	50.8%	3.3%	0.0%
23	佐藤長門	89	44.5%	3,416	47.2%	49.4%	1.1%	2.2%
24	金杉武司	94	58.4%	3,383	47.9%	44.7%	5.3%	2.1%
25	吉岡孝	57	9.2%	3,368	42.1%	52.6%	5.3%	0.0%
26	藤澤紫	64	11.2%	3,359	46.9%	45.3%	4.7%	3.1%
27	河合繁昭	102	53.7%	3,353	40.2%	55.9%	2.9%	1.0%
28	渡邊卓	59	51.3%	3,339	45.8%	45.8%	5.1%	3.4%
29	池田行伸	55	25.7%	3,327	32.7%	67.3%	0.0%	0.0%
30	田沼茂紀	90	41.3%	3,322	38.9%	56.7%	2.2%	2.2%

満足度ベスト 30（兼任教員）

順位	教員氏名	回答件数	回答率	得点	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
1	山形高司	56	35%	3.768	76.8%	23.2%	0.0%	0.0%
2	田中章義	59	59%	3.712	72.9%	25.4%	1.7%	0.0%
3	岩崎博	55	69%	3.655	65.5%	34.5%	0.0%	0.0%
4	手島純	53	51%	3.623	67.9%	28.3%	1.9%	1.9%
5	流郷吐夢	54	66%	3.481	55.6%	37.0%	7.4%	0.0%
6	辻本拓司	122	13%	3.459	48.4%	50.0%	0.8%	0.8%
7	川村信郎	60	20%	3.433	46.7%	50.0%	3.3%	0.0%
8	笠原悦夫	58	46%	3.431	46.6%	50.0%	3.4%	0.0%
9	福井一喜	180	33%	3.417	43.3%	55.6%	0.6%	0.6%
10	白鳥和生	53	22%	3.415	43.4%	54.7%	1.9%	0.0%
11	石原直美	53	71%	3.415	45.3%	52.8%	0.0%	1.9%
12	田窪大介	102	19%	3.382	43.1%	52.9%	2.9%	1.0%
13	三ツ矢真紀	134	87%	3.381	44.0%	51.5%	3.0%	1.5%
14	関智弘	126	42%	3.341	39.7%	55.6%	4.0%	0.8%
15	スポーツ科学論担当教員（林・伊藤）	90	55.2%	3.300	33.3%	63.3%	3.3%	0.0%
16	金久洋子	61	76.3%	3.295	32.8%	63.9%	3.3%	0.0%
17	中田健太郎	82	14.7%	3.293	39.0%	52.4%	7.3%	1.2%
18	桶田和子	55	28.5%	3.291	32.7%	63.6%	3.6%	0.0%
19	村井哲也	68	67.3%	3.279	39.7%	51.5%	5.9%	2.9%
20	樋口政則	51	42.1%	3.275	33.3%	60.8%	5.9%	0.0%
21	西田洋平	74	72.5%	3.270	31.1%	66.2%	1.4%	1.4%
22	矢崎弥	78	45.1%	3.269	33.3%	60.3%	6.4%	0.0%
23	スポーツ科学論担当教員（神事・伊藤）	151	46.9%	3.265	34.4%	58.9%	5.3%	1.3%
24	牧野由理	55	51.9%	3.255	32.7%	63.6%	0.0%	3.6%
25	スポーツ科学論担当教員（神事・伊藤）	61	38.4%	3.213	36.1%	52.5%	8.2%	3.3%
26	藤原えりみ	54	8.8%	3.185	44.4%	35.2%	14.8%	5.6%
27	櫻井大三	85	55.9%	3.176	25.9%	67.1%	5.9%	1.2%
28	嶋田英晴	62	19.9%	3.161	27.4%	62.9%	8.1%	1.6%
29	小堀光夫	51	62.2%	3.157	25.5%	64.7%	9.8%	0.0%
30	関武志	76	20.3%	3.066	26.3%	59.2%	9.2%	5.3%

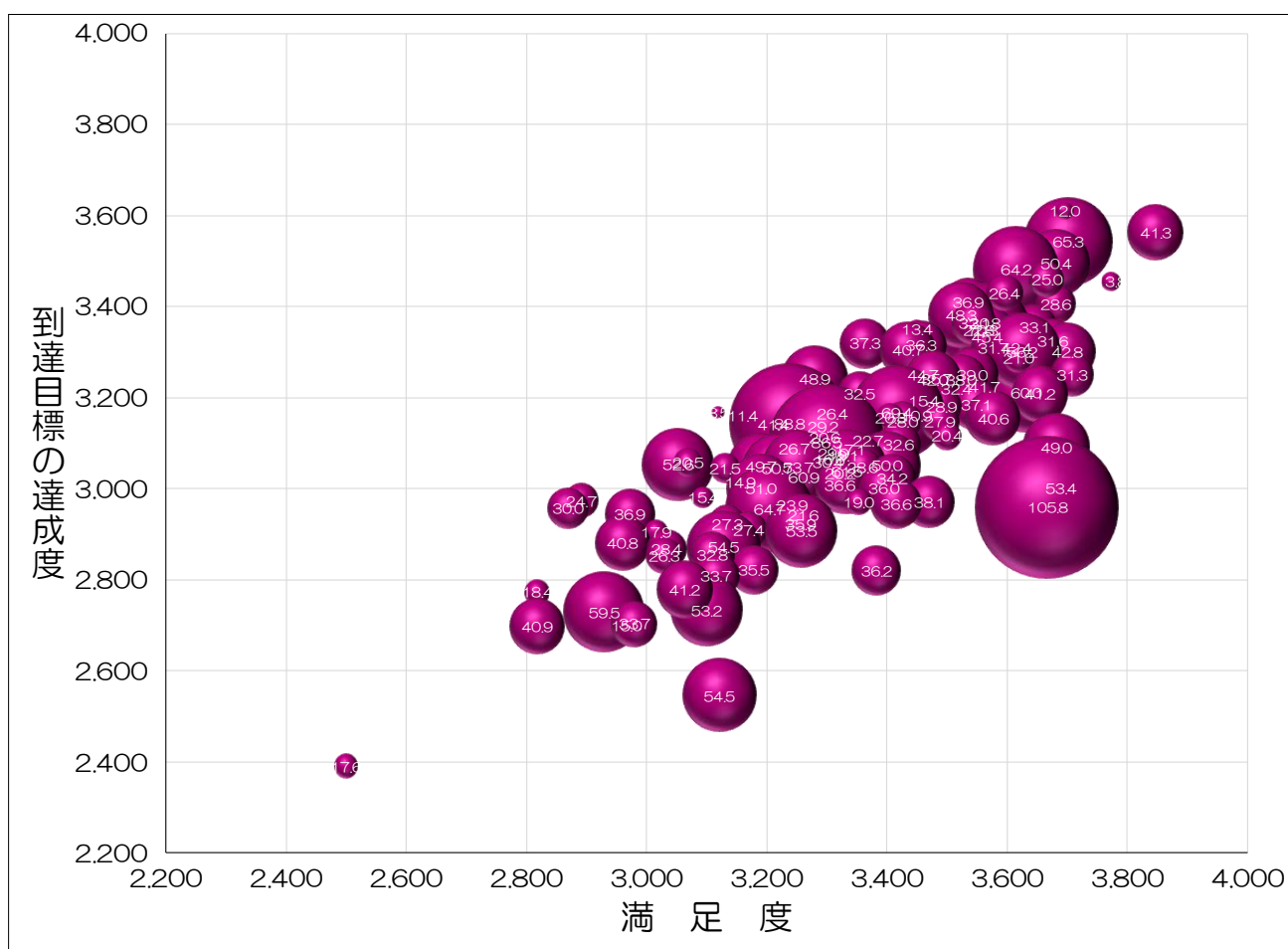
満足度ベスト 30（総合：専任教員及び兼任教員）

順位	教員氏名	回答件数	回答率	得点	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
1	杉田洋	105	65.2%	3,848	84.8%	15.2%	0.0%	0.0%
2	飯倉義之	66	19.1%	3,773	80.3%	16.7%	3.0%	0.0%
3	山形高司	56	34.8%	3,768	76.8%	23.2%	0.0%	0.0%
4	田中章義	59	59.0%	3,712	72.9%	25.4%	1.7%	0.0%
5	村上佳司	181	74.5%	3,702	72.9%	25.4%	0.6%	1.1%
6	針谷壮一	91	45.7%	3,681	70.3%	28.6%	0.0%	1.1%
7	田嶋一	185	66.8%	3,681	71.4%	26.5%	1.1%	1.1%
8	井上明芳	99	79.8%	3,667	69.7%	28.3%	1.0%	1.0%
9	岩崎博	55	68.8%	3,655	65.5%	34.5%	0.0%	0.0%
9	齋藤智哉	113	61.4%	3,646	66.4%	32.7%	0.0%	0.9%
11	石川則夫	57	85.1%	3,632	63.2%	36.8%	0.0%	0.0%
12	手島純	53	51.0%	3,623	67.9%	28.3%	1.9%	1.9%
13	川田裕樹	52	30.1%	3,615	65.4%	30.8%	3.8%	0.0%
14	高山実佐	78	47.9%	3,615	64.1%	34.6%	0.0%	1.3%
15	東海林孝一	60	49.2%	3,567	56.7%	43.3%	0.0%	0.0%
16	高橋幸子	110	74.3%	3,564	59.1%	39.1%	0.9%	0.9%
17	大津直子	112	50.0%	3,563	59.8%	38.4%	0.0%	1.8%
18	高山真琴	118	84.9%	3,559	63.6%	30.5%	4.2%	1.7%
19	高橋昌一郎	416	36.8%	3,553	57.2%	41.3%	1.0%	0.5%
20	笹生衛	82	41.8%	3,549	56.1%	42.7%	1.2%	0.0%
21	坂本正徳	71	64.0%	3,535	54.9%	43.7%	1.4%	0.0%
22	吉永安里	64	33.0%	3,516	53.1%	45.3%	1.6%	0.0%
23	中村正明	155	67.4%	3,490	51.0%	47.7%	0.6%	0.6%
24	流郷吐夢	54	65.9%	3,481	55.6%	37.0%	7.4%	0.0%
25	鈴木道代	100	48.1%	3,460	50.0%	47.0%	2.0%	1.0%
26	辻本拓司	122	13.4%	3,459	48.4%	50.0%	0.8%	0.8%
27	田村学	118	44.5%	3,449	51.7%	43.2%	3.4%	1.7%
28	川村信郎	60	20.1%	3,433	46.7%	50.0%	3.3%	0.0%
29	笠原悦夫	58	45.7%	3,431	46.6%	50.0%	3.4%	0.0%
30	近藤良彦	61	35.3%	3,426	45.9%	50.8%	3.3%	0.0%

注 塗りつぶしは兼任教員

2-3 達成目標の到達度・満足度・授業外学修時間で見た教員の分布 専任教員の場合

- 下の図は、教員個人を単位（1つのバブル）として、縦軸にQ13「達成目標の達成度」の平均値（1.0～4.0の範囲で分布）を、横軸にQ14「満足度」の平均値（1.0～4.0の範囲で分布）をとり、さらにQ15「授業1回あたりの授業外学修時間」の平均値（実数値であり単位は分）の大小をバブルの幅で表すことで、専任教員の相対的な位置をプロットしたものです。
- これによると専任教員は、満足度で約2.5～3.8、到達目標の達成度で約2.4～3.6の範囲で分布しているようです。
- 平成28年度前期と比較すると、満足度、到達目標の達成度ともに、それほど差がありません。したがって3つの指標からみた本学専任教員の「教育実態の分布」は下記のような状況となっていると認識することができます。

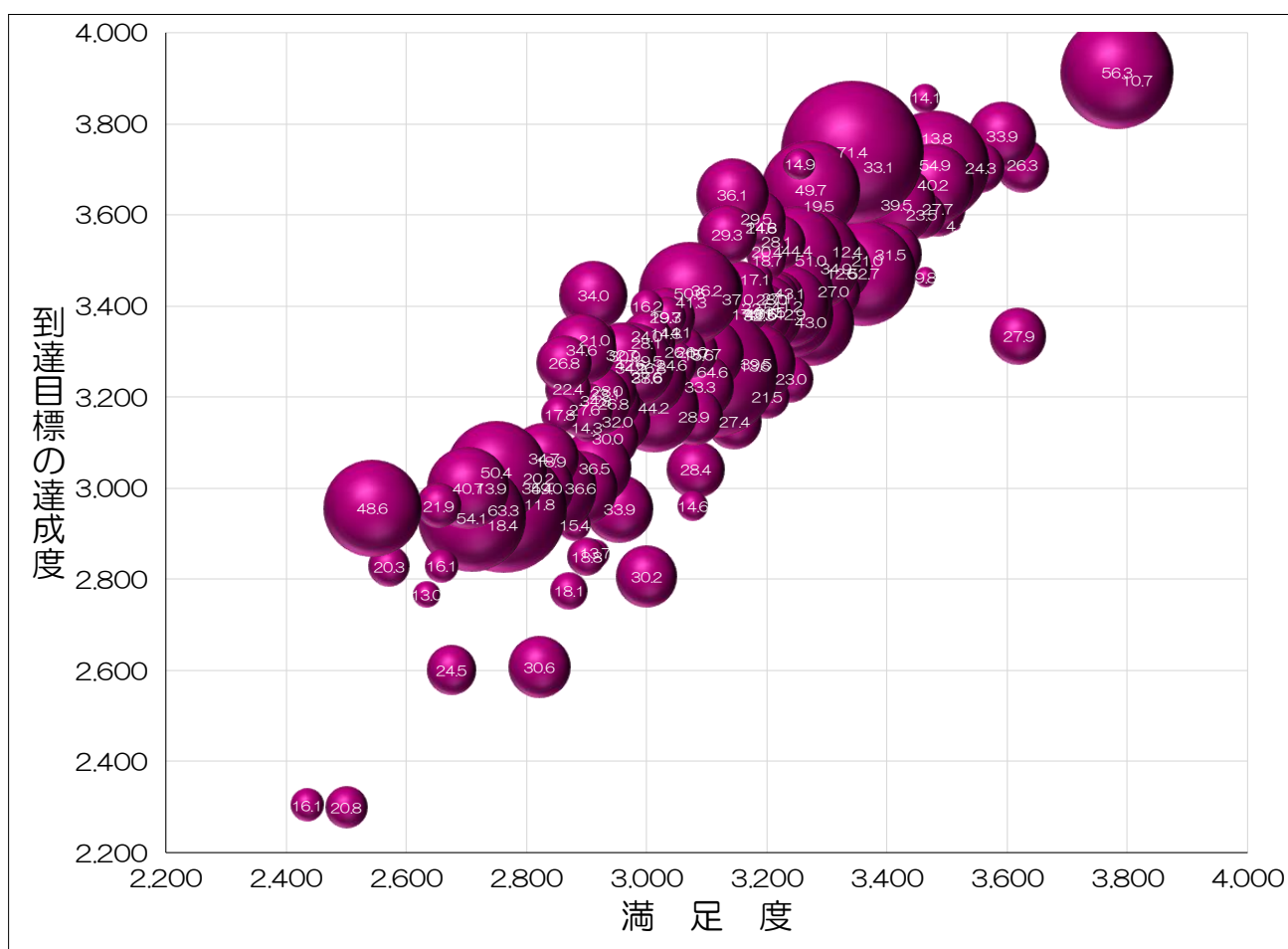


注) アンケートの回答件数の合計が20件以上の教員に限定して図示。なおバブル中の数字は、授業外学修時間の平均値であり、バブルの幅で表されている。なお白色のバブルは、専任教員の平均値を示す。

到達度・満足度・授業外学修時間でみた教員の分布：専任教員

兼任教員の場合

- 下の図は、前ページと同じ形式で、兼任教員を対象に図示したものです。
- これによると兼任教員の場合は満足度で約 2.3~3.9、到達目標の達成度で同じく 2.3~3.9 といった範囲で分布していることが確認できました。
- 授業外学修時間（バブルの幅）に関しては、兼任教員の場合は、前頁の専任教員よりも分布の傾斜が急であり、満足度の上昇分に対して、到達目標の達成度が、専任教員以上に上昇する結果となっていました。



注) アンケートの回答件数の合計が 20 件以上の教員に限定して図示。なおバブル中の数字は、授業外学修時間の平均値であり、バブルの幅で表されている。なお白色のバブルは、兼任教員の平均値を示す。

到達度・満足度・授業外学修時間でみた教員の分布：兼任教員

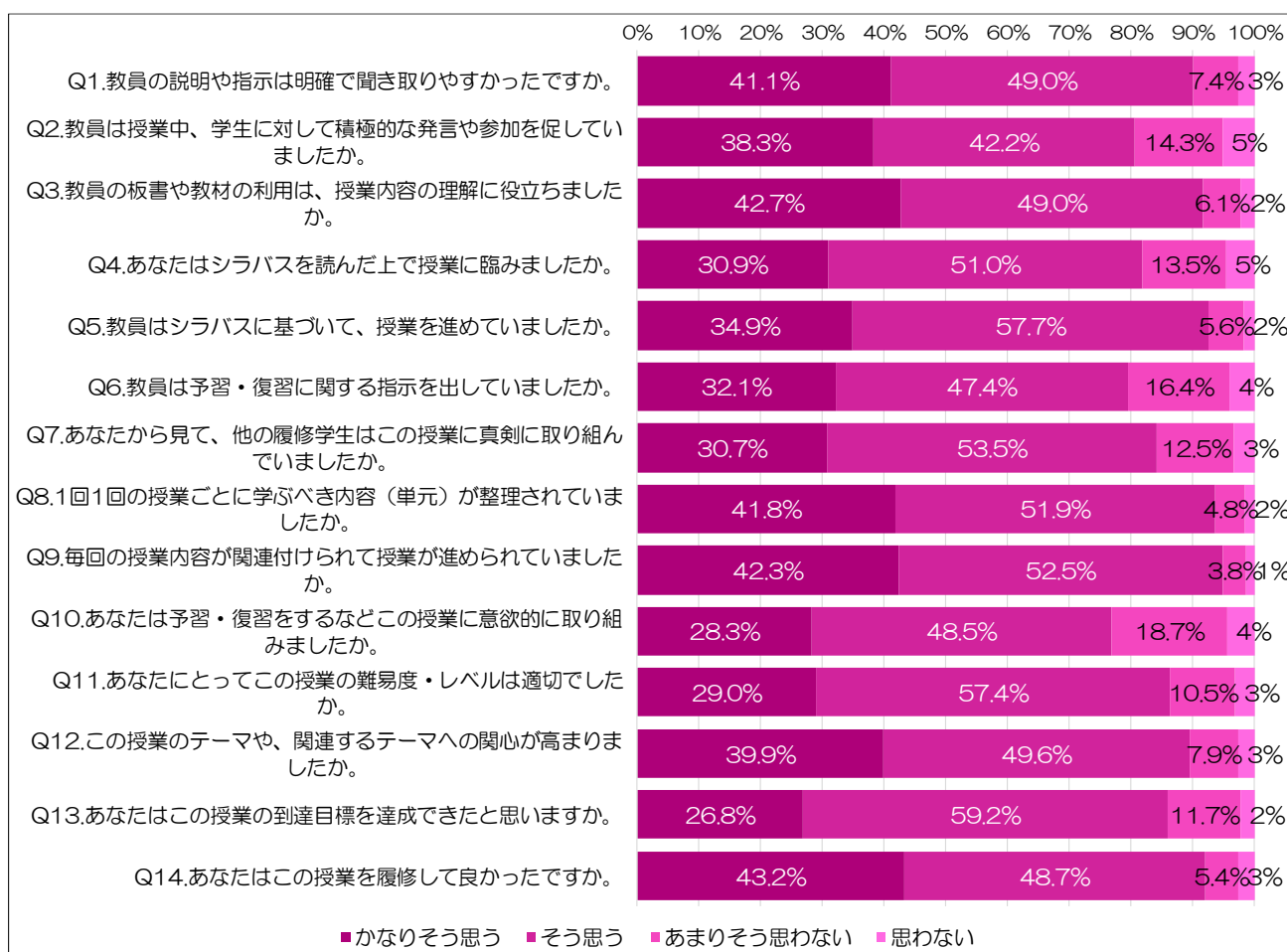
3. 考察（1）設問間のクロス表分析

* 「平成 29（2017）年度前期学生による授業評価アンケートリフレット」より転載

3-1 全体集計

- 下の図は、授業外学修時間を尋ねた Q15 を除いた、全設問項目の集計結果です。これによるとほぼすべての項目で、「かなりそう思う」「そう思う」の肯定回答がかなりの割合を占めていることがわかります。
- 肯定回答が 80%を下回った設問項目は、Q6、Q10 の 2 つだけでした。平成 29 年度前期に 80%を下回っていた Q2 と Q4 が、平成 29 年度後期では 80%を上回る結果となりました。
- 「かなりそう思う」は 28.3%~43.2%の間で分布しており、「そう思う」の分布は 42.2%~59.2%の間で分布していました。

注 回答件数（17,990 件）

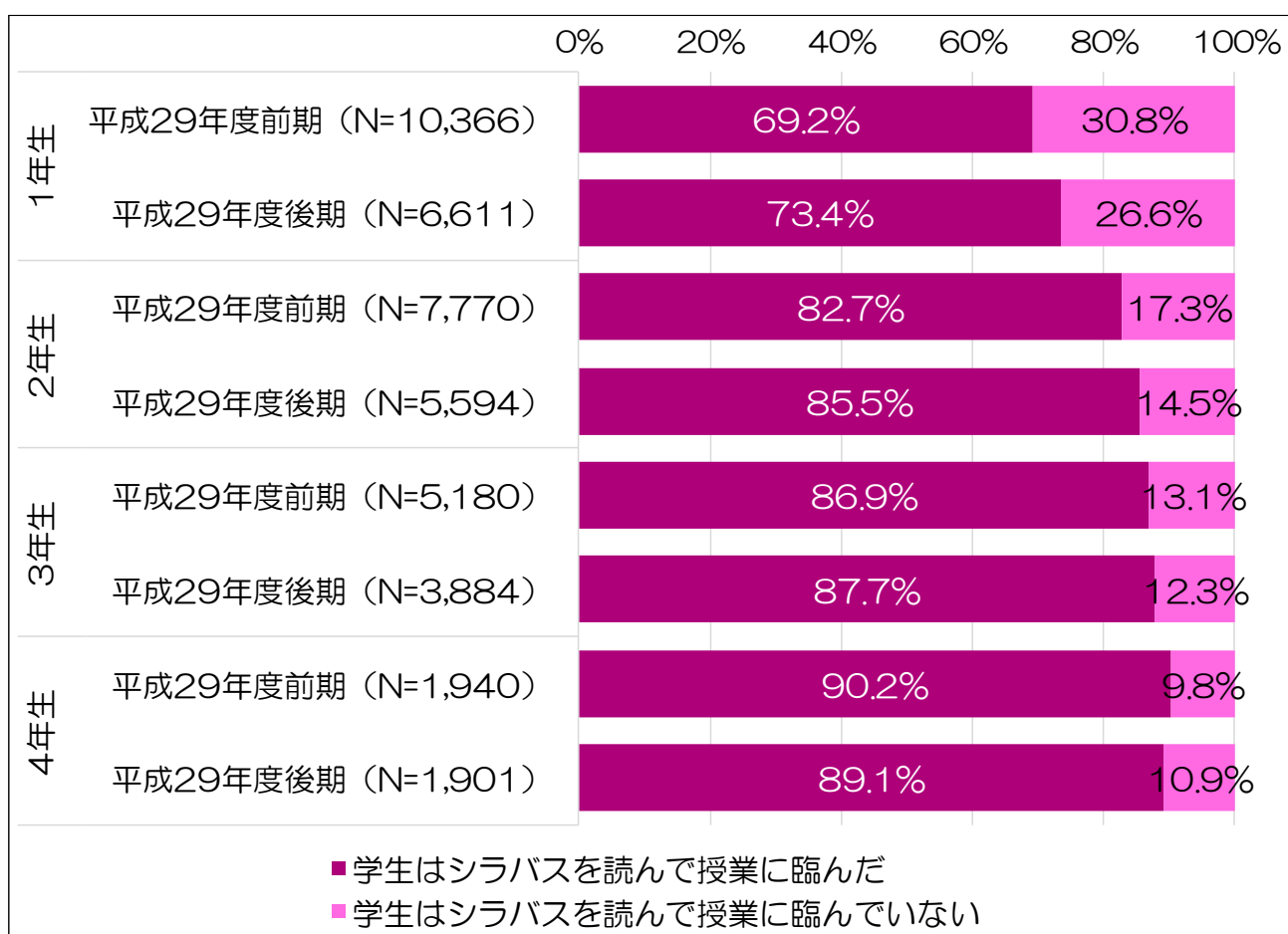


全設問項目の回答分布

3-2 シラバスの確認状況（Q4）

- 下の図は、Q4「あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。」について、回答学生の学年ごとに集計した結果です。参考として、平成29年度前期の結果も掲載しています。
- 学生は学年が進行するに連れて、シラバスを読んだ上で授業に臨む傾向にある、という前期の見解が後期にもあてはまる結果となりました。
- 1年生に注目すると、前期と比べて後期は、シラバスを読んで授業に臨んだと回答した学生の割合が増えています。しかしながら依然として、4人に1人が、シラバス内容を把握せずに受講しているようです。

注 回答件数（17,990件）

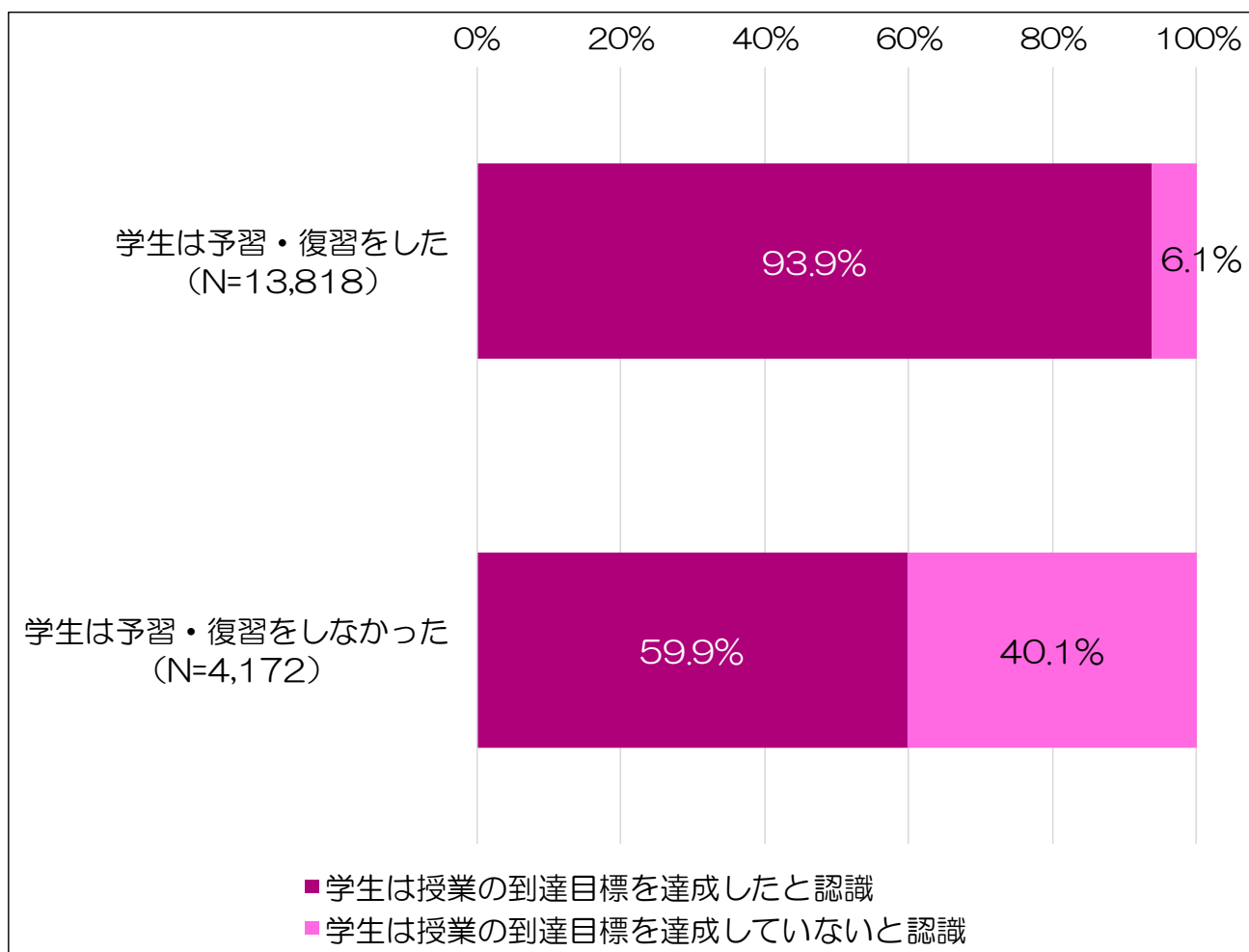


学年別に見たシラバスの事前確認の状況

3-3 学生の予習・復習と到達目標の達成度との関係（Q10とQ13）

- 下の図は、Q10「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。」とQ13「あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。」との関係性を図で示したものです。
- これによると、学生が予習・復習を行ったと回答した場合には、93.9%の学生が、「学生は授業の到達目標を達成した」と回答しています。
- 一方で、学生が予習・復習を行っていない場合には、59.9%の学生しか「授業の到達目標を達成した」と回答しておらず、反対に40.1%もの学生が、「授業の到達目標を達成していない」と回答していました。

注 回答件数（17,990件）

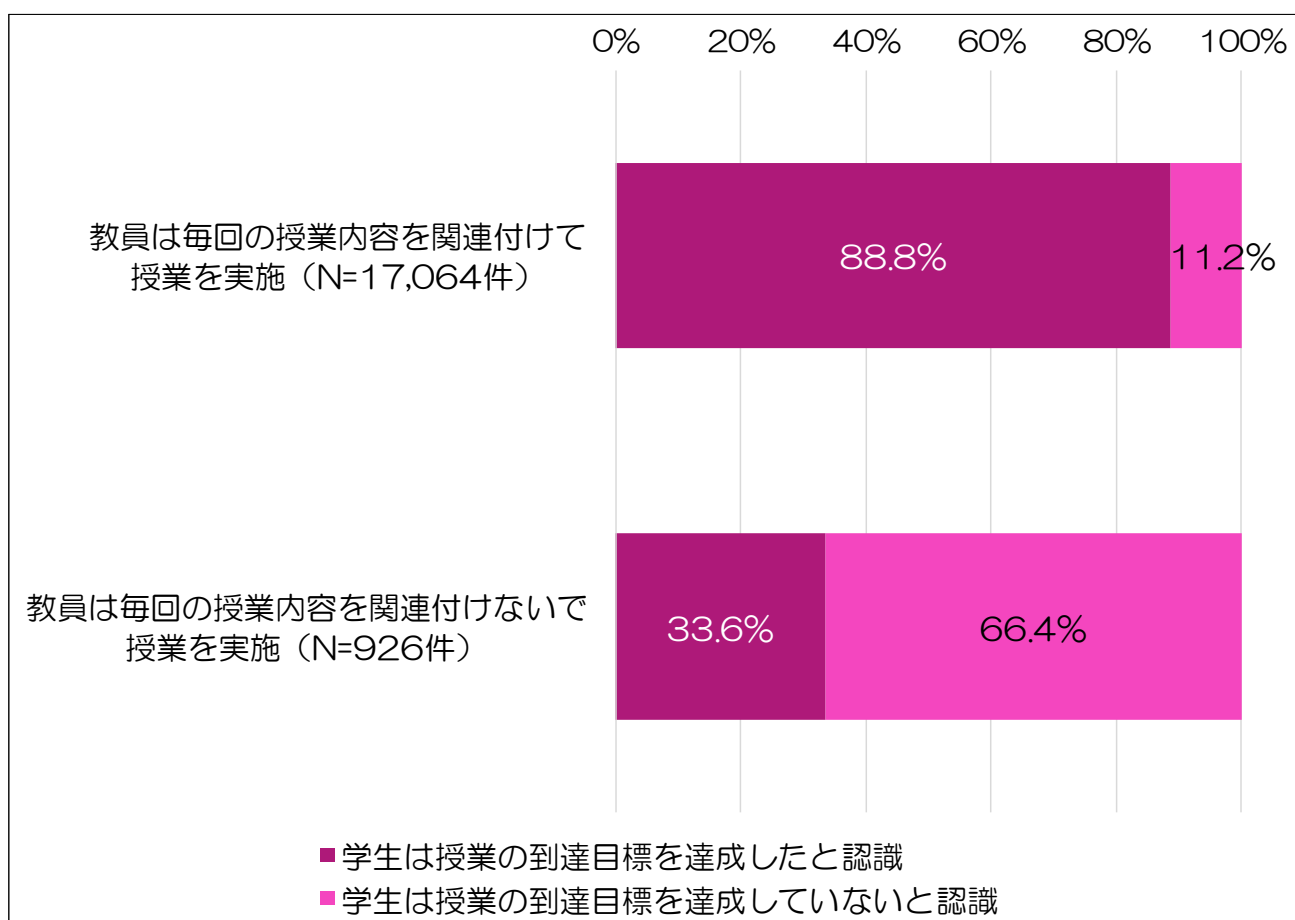


教員の指示と学生の授業に対するかまえとの関係

3-4 授業の進め方と到達目標の達成度合い（Q9 と Q13）

- 下の図は、Q9「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか」と、Q13「あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、教員が毎回の授業内容を関連付けて授業を実施した場合には、88.8%の学生が、「授業の到達目標を達成した」と答えています。
- 一方で、教員が毎回の授業内容を関連付けて授業を実施していない場合には、33.6%の学生しか、「授業の到達目標を達成した」と回答しておらず、66.4%の学生が、「授業の到達目標を達成していない」と答えています。

注 回答件数（17,990 件）



教員の授業の進め方と学生が認識する到達目標の達成度合いとの関係

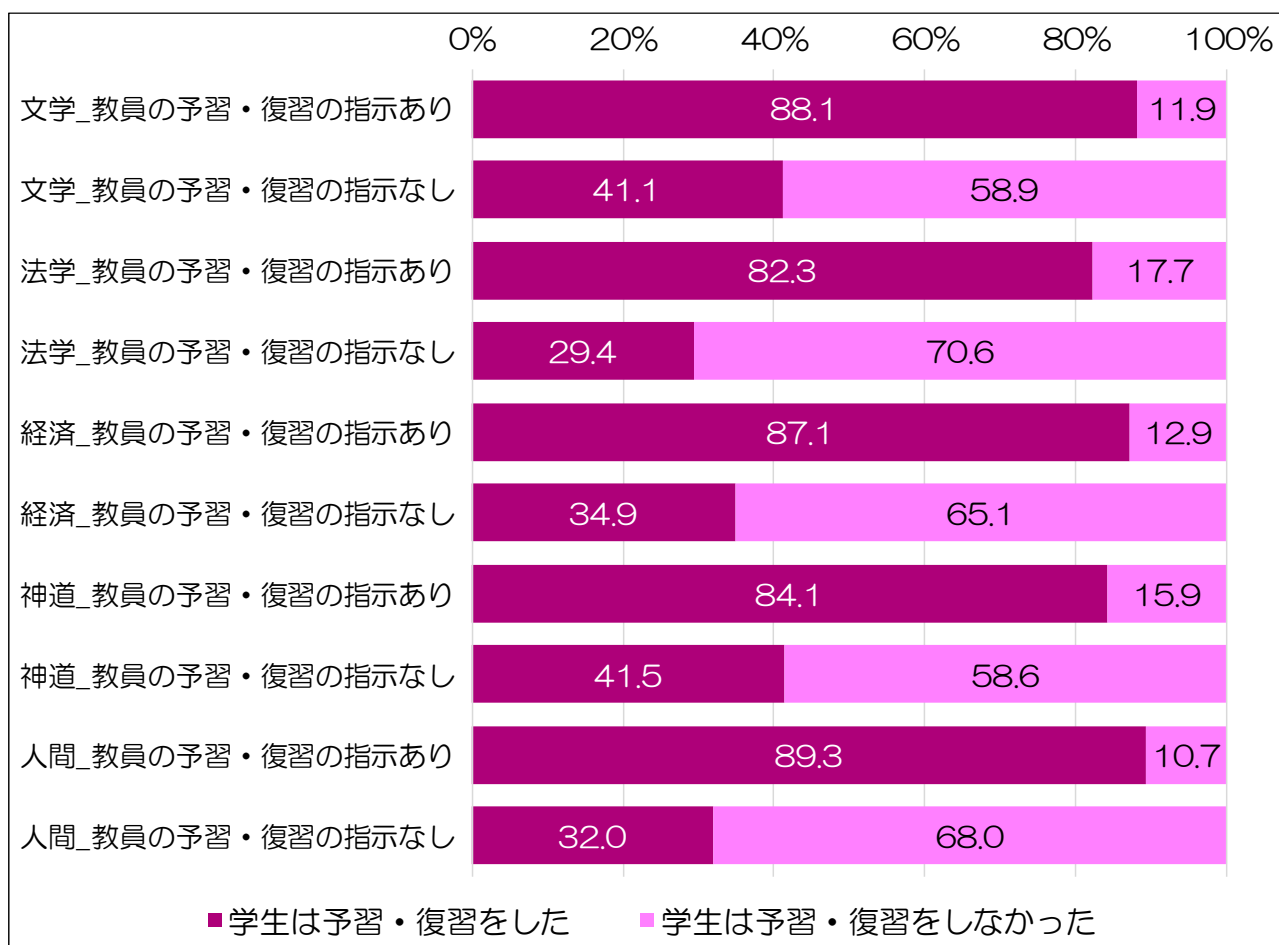
3-5 教員の所属別にみた教員の指示と学生の授業に対するかまえとの関係 (Q6 と Q10)

- 下の図は、授業を担当した教員の所属別に、Q6「教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。」と、Q10「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。」との関係性を図で示したものです。
- これによると、「教員の予習・復習の指示あり」と回答した場合は、どの学部の場合でも、約 80～90%の割合で、学生は予習・復習をしたと回答しています。
- 一方で、「教員の予習・復習の指示なし」と回答した場合は、学生が予習・復習をした割合は、約 30～40%にとどまることがわかりました。

注 各学部の集計件数は以下の通り

文学部 (7,690 件) 法学部 (1,816 件) 経済学部 (1,679 件)

神道文化学部 (1,103 件) 人間開発学部 (3,668 件)



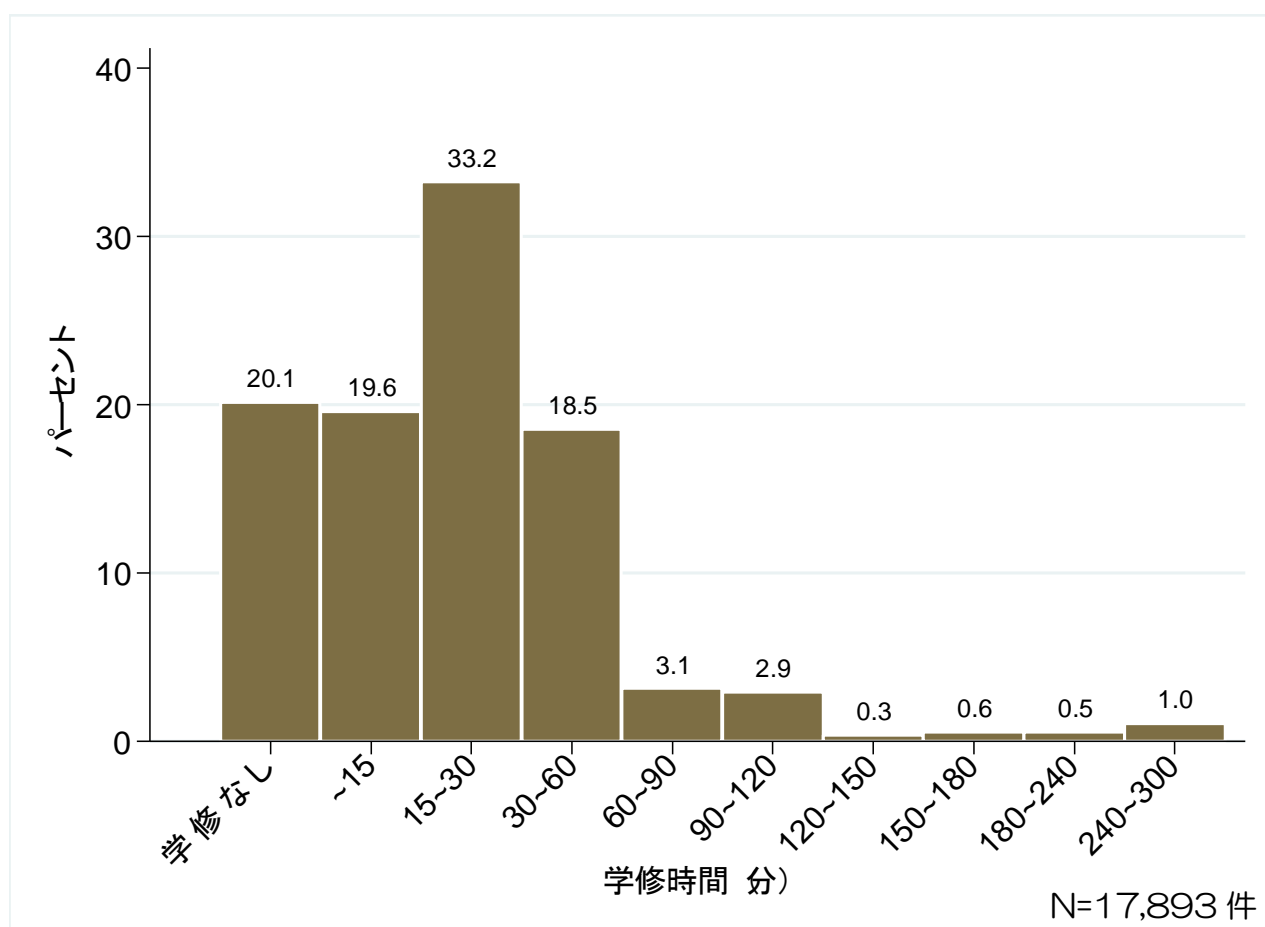
教員の所属別にみた教員の指示と学生の授業に対するかまえとの関係

4. 考察（2）本学学士課程教育の授業外学修時間の現状

4-1 学士課程全体

- 以下の図は、Q15「あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修（予習復習課題等）時間をとりましたか（0～300分の範囲で記入）」の回答結果を示したものです。
- 集計の結果、國學院大學の学士課程教育における授業1科目あたりの授業外学修時間は、平均で33.1分でした。
- 分布を見ると、「15分～30分以内」と回答した学生が33.2%と最も多く、以下は、「学修なし」が20.1%、「15分以内」が19.6%と続きました。

注 回答件数（17,893件）



学士課程全体における授業外学修時間の分布

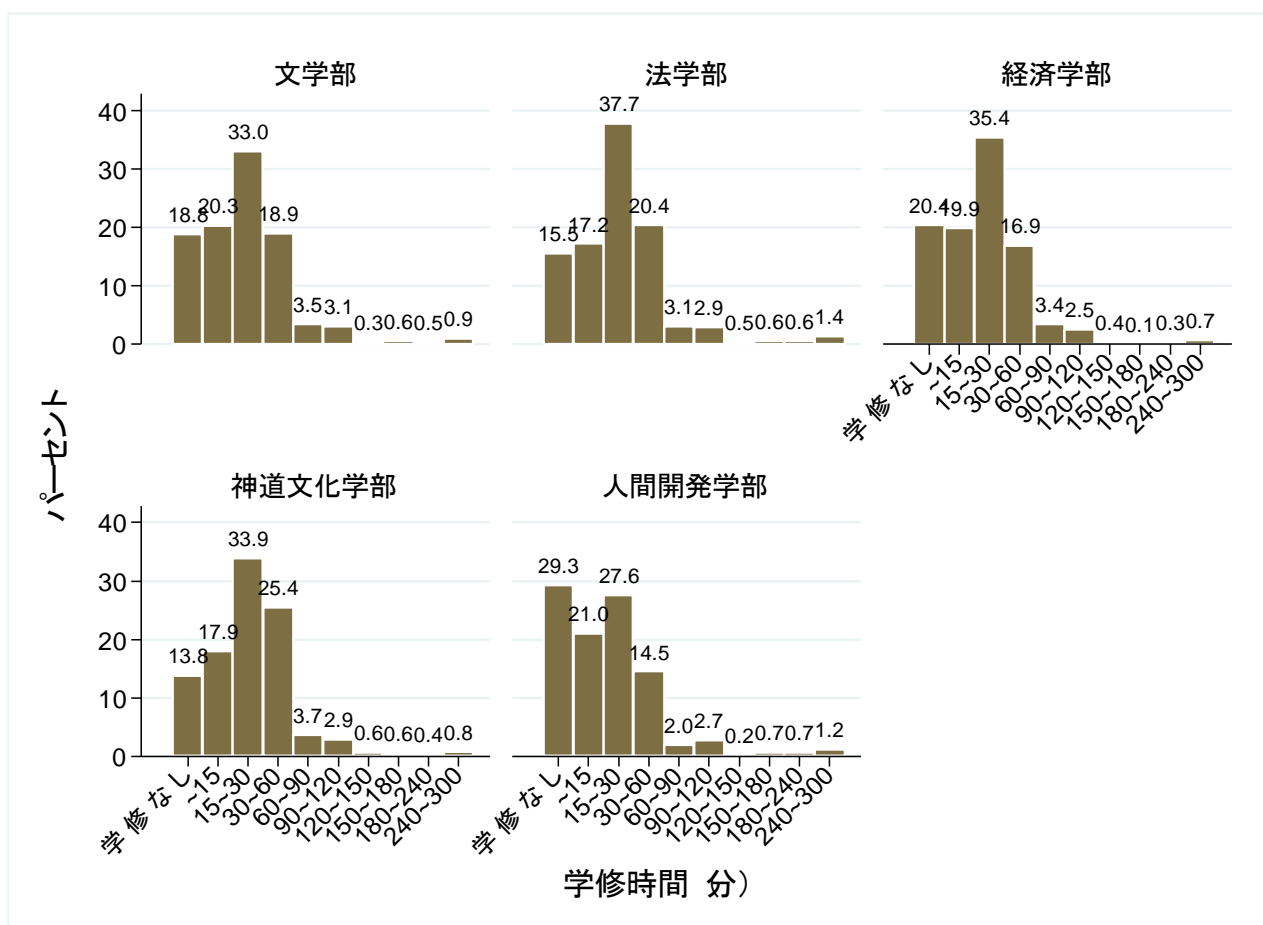
4-2 回答学生の所属学部別

- 次にアンケートに回答してくれた学生の所属学部で区分して、結果を見てみましょう。
- まず平均値を見ると、文学部学生が 33.6 分、法学部生が 36.6 分、経済学部生が 30.6 分、神道文化学部生が 36.5 分、人間開発学部生が 29.5 分でした。
- 次に分布の状況を見ると、人間開発学部を除き、「15 分～30 分以内」と回答した学生が最も多くを占めていました。これに続いたのは「15 分以内」で、文学部、法学部、経済学部、神道文化学部で共通していました。人間開発学部では「学修なし」が最も多く、その次が「15 分～30 分以内」でした。

注 回答件数（17,893 件。平成 29 年度後期回答学生の学部別回答件数は、以下の通り）

文学部（6,788 件） 法学部（3,464 件） 経済学部（2,561 件）

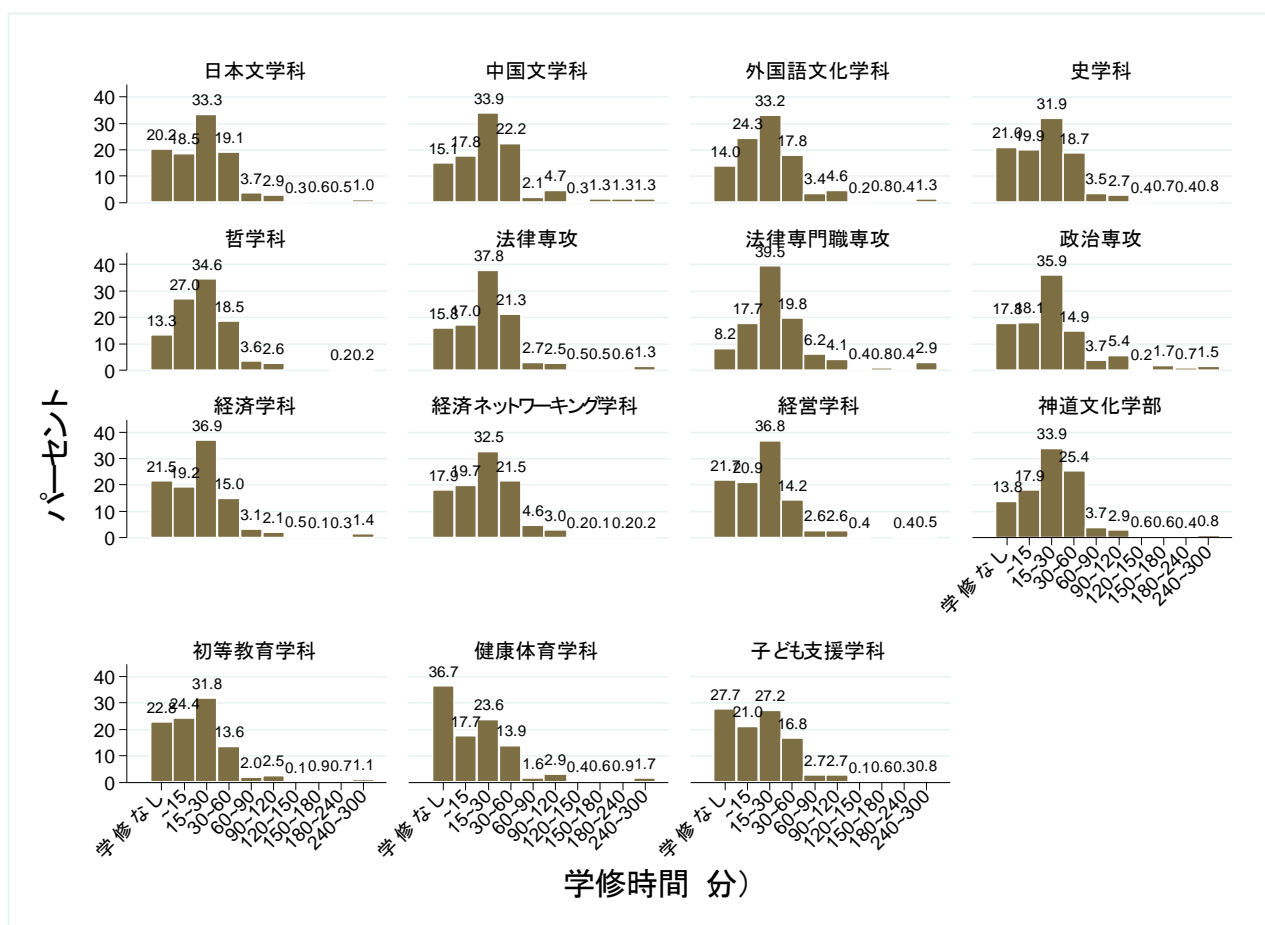
神道文化学部（1,416 件） 人間開発学部（3,664 件）



学生の所属学部別にみた授業外学修時間の分布

4-3 回答学生の所属学科別

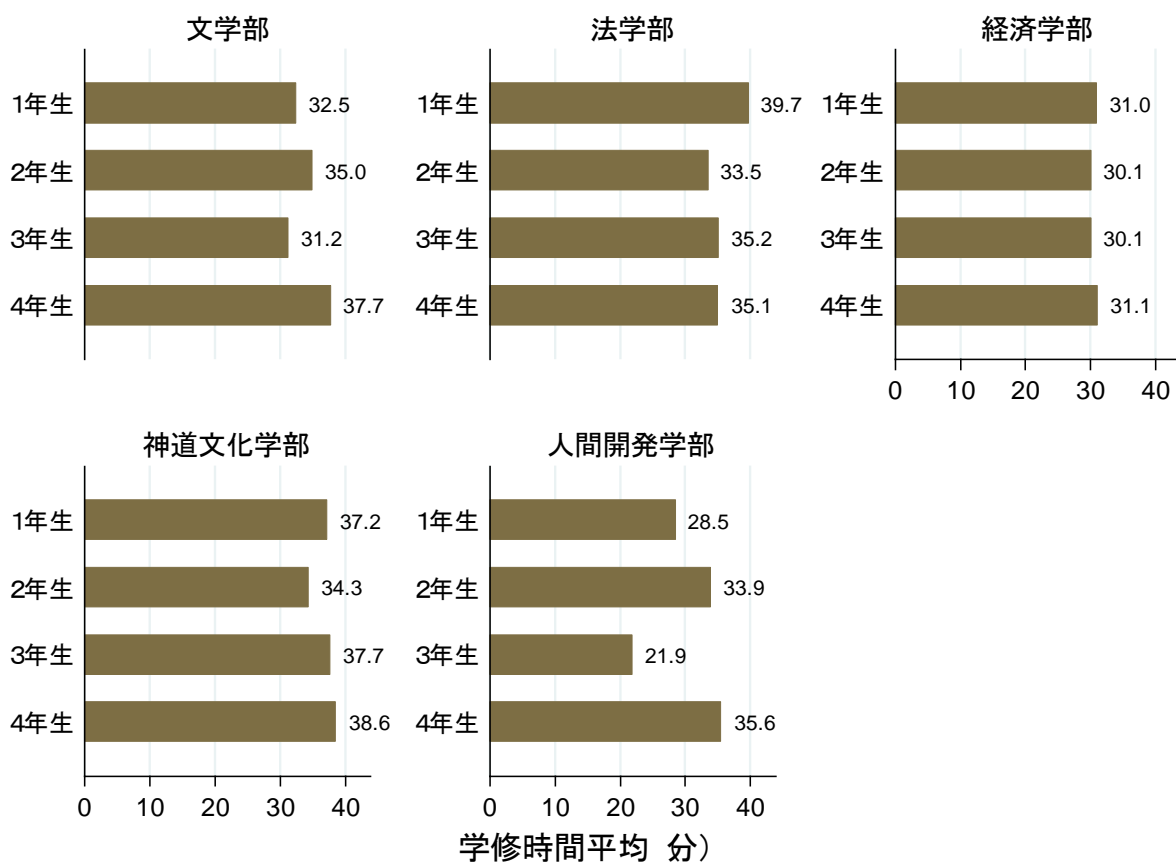
- さらに学科・専攻別に見ることで、より詳細に結果を確認してみましょう。
- 健康体育学科と子ども支援学科を除き、やはり学科・専攻単位でも「15分～30分以内」と回答した学生が、多くを占める結果となりました。
- 「30分～60分以内」と回答した学生の割合が最も大きかったのは、神道文化学部で、25.4%でした。
- 「60分～90分以内」となると、さらに割合は少なくなり、ほぼすべての学科（専攻）で5%未満となることが確認されました。



学生の所属学科・専攻別に見た授業外学修時間の分布

4-4 回答学生の学年・所属学部別

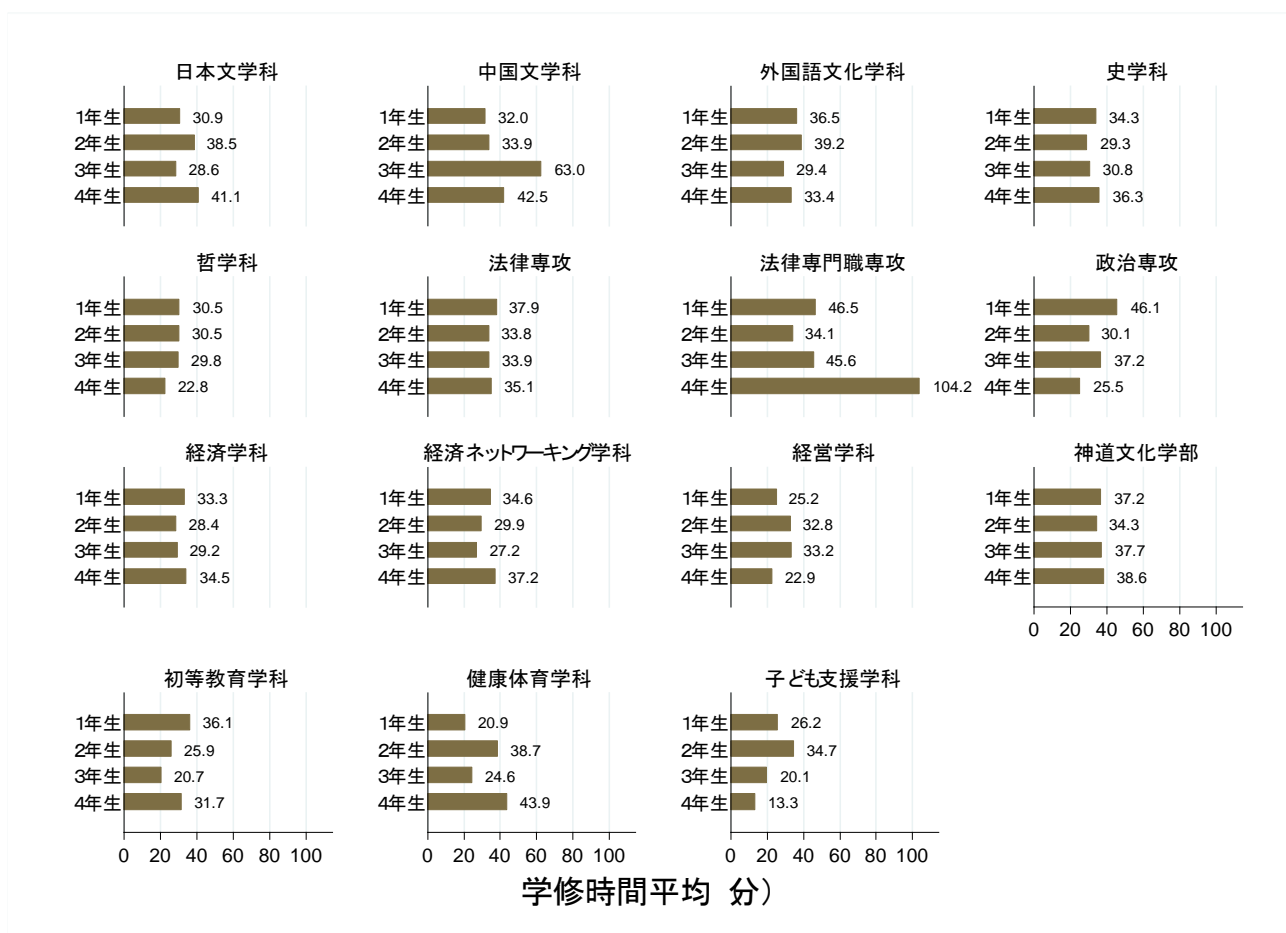
- ここからは回答学生の学年にも注目して、学部別に分布を見てみましょう。
- 下の図を見ると、学年別に見た授業外学修時間の平均値の分布は、学部によって異なることがわかります。
- 全体的な傾向として、過年度とは若干、分布が異なる結果となりました。



学生の所属学部と学年別に見た授業外学修時間の平均値

4-5 回答学生の学年・所属学科別

- 4-4 に続いて学科・専攻別に見たものが下の図です。
- 図を見ると、まずは法律専門職専攻の4年生の授業外学修時間が極めて多いことに注目されます。
- その上で過年度との違いは、これまでは2年生の授業外学修時間が、1年生より減少する傾向にありましたが、今回の調査結果では必ずしもそうではないということです。
- 4年生の授業外学修時間については、前回同様、学科・専攻によって差が顕著でした。かなり短い学科もあることが確認できました。

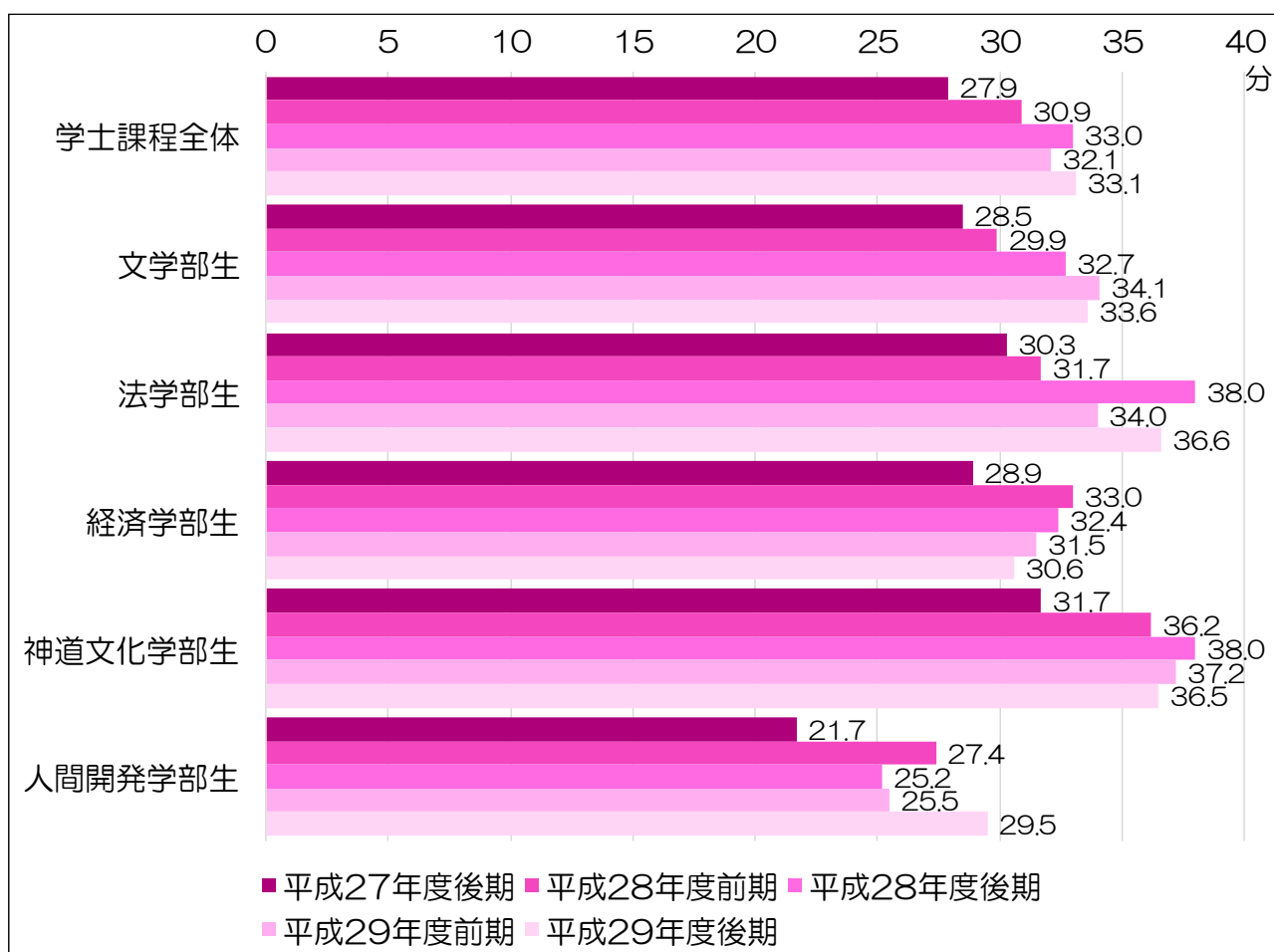


学生の所属学科・専攻と学年別にみた授業外学修時間の分布

4-6 授業外学修時間の状況：経年変化

- 下の図は、Q15「あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修（予習復習課題等）時間をとりましたか（0～300分の範囲で記入）。」について、その集計結果を、学生の所属学部別に経年で図示したものです。
- 平成29年度後期の全体平均は、33.1分でした。
- 学部別平均をみると、文学部学生は33.6分、法学部生は36.6分、経済学部生は30.6分、神道文化学部生は36.5分、人間開発学部生は29.5分でした。
- 平成29年度前期と比較して数値が伸びていたのは、法学部生と人間開発学部生でした。

注 回答件数（17,893件）



授業外学修時間の経年変化

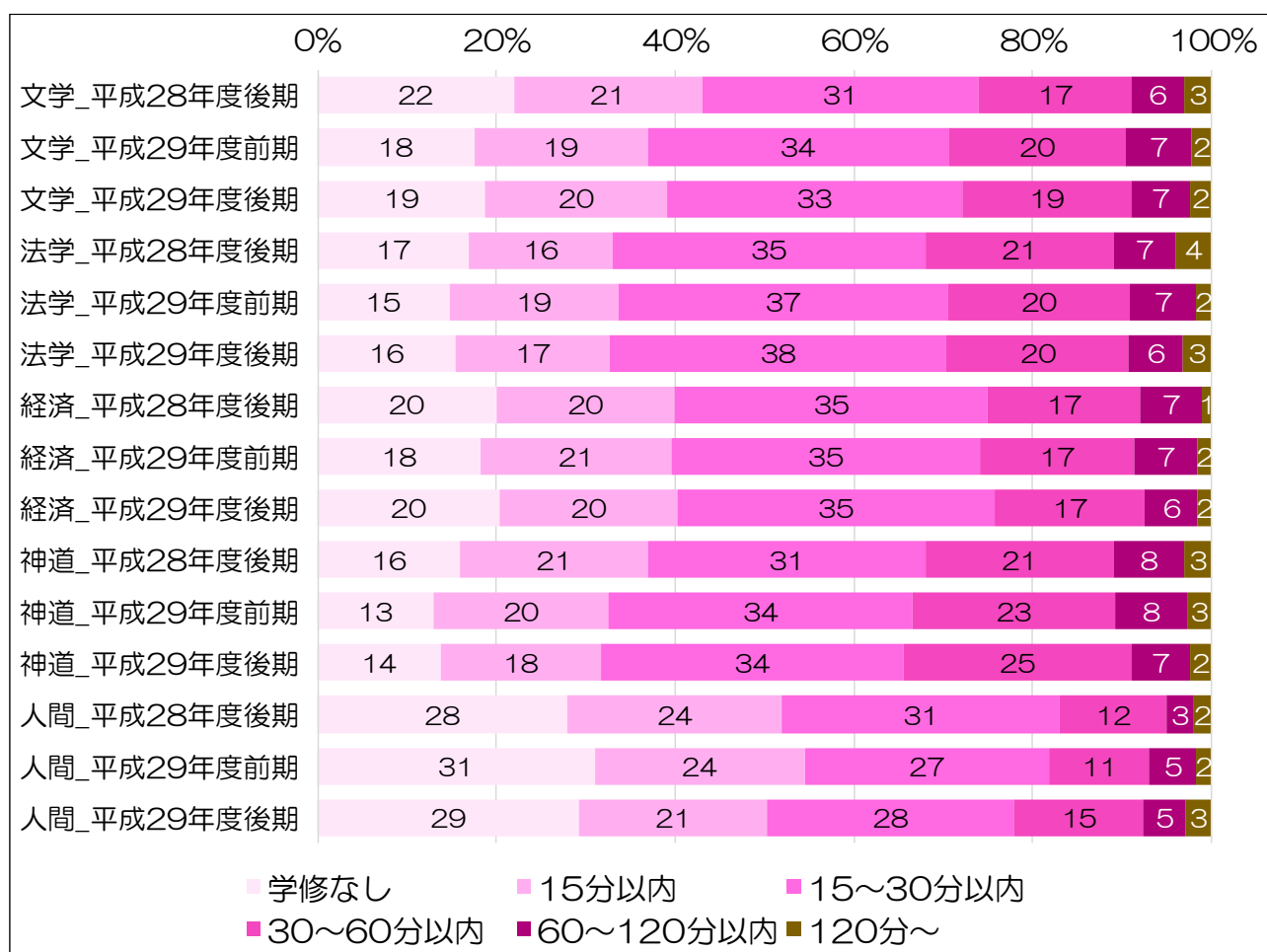
4-7 授業外学修時間の状況：学生所属でみた学部別分布の経年比較

- 下の図は、前ページと同様にQ15について、その分布を、学生の所属学部別に直近3回分のアンケート結果から経年比較の形式で示したものです。
- これよりどの学部も「15分～30分以内」と回答した学生が、どの学部でも多くを占めていること、そしてそれに大きな変化がないことがみてとれます。
- また「60分以上」と回答した学生が、どの学部でも極めて少ない割合であることにも変化はないようです。「60～120分以内」と「120分～」と回答した割合を合算しても、約10%程度であることが、グラフからみてとることができます。

注 回答件数（17,893件。平成29年度後期回答学生の学部別回答件数は、以下の通り）

文学部（6,788件） 法学部（3,464件） 経済学部（2,561件）

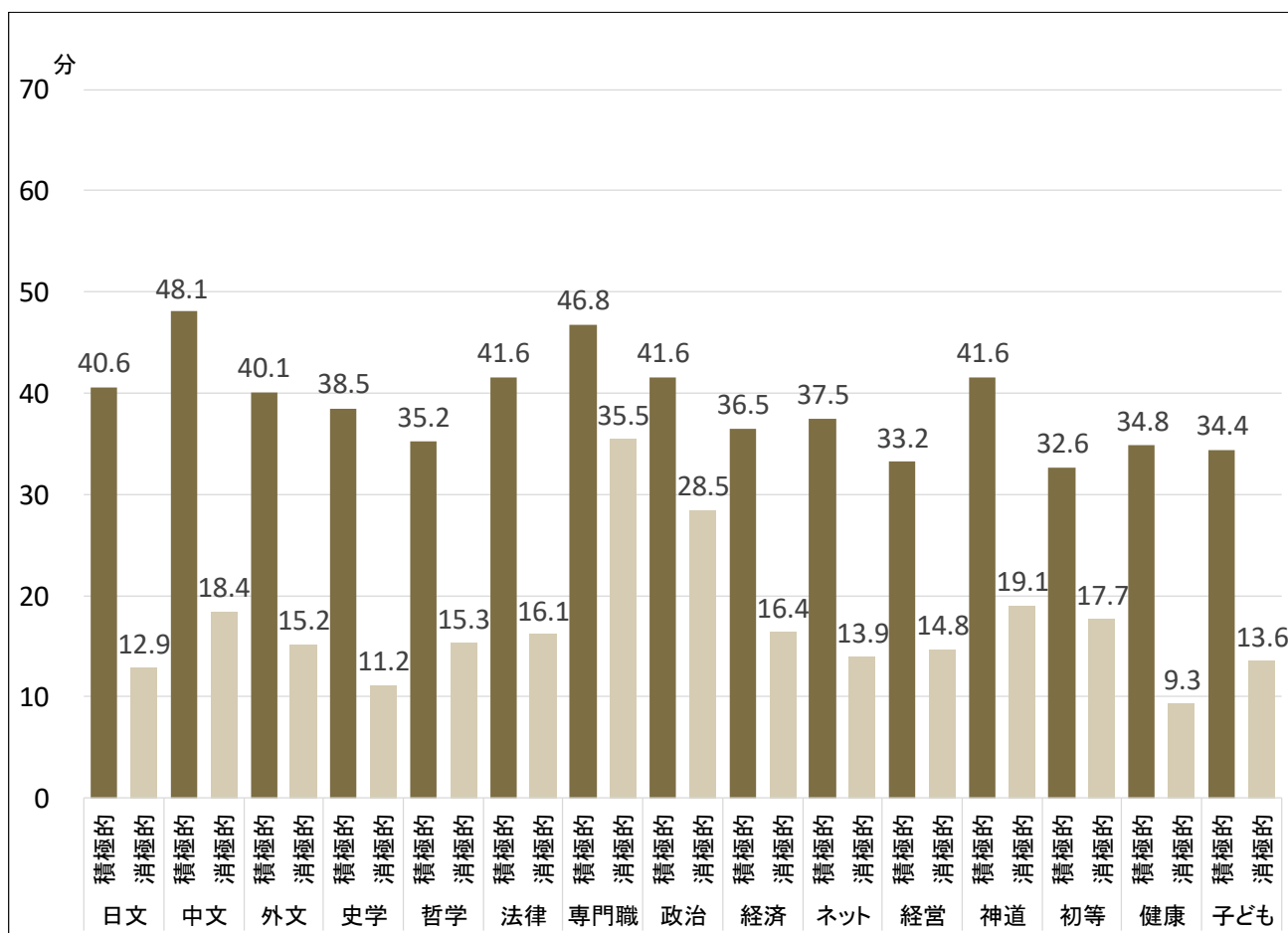
神道文化学部（1,416件） 人間開発学部（3,664件）



学生の所属学部別にみた「この授業1回あたりの授業外学修時間」の分布

4-8 学生の授業に対するかまえと授業外学修時間

- 下の図は、Q10「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか」の回答結果と、Q15の授業外学修時間との関係を、学科・専攻別に検討した結果を示したものです。
- Q10で「かなりそう思う」と「そう思う」と回答したものを「積極的」とし、「あまりそう思わない」と「思わない」と回答したものを「消極的」としました。
- 「積極的」と回答した場合の平均値は、最大が中国文学科の48.1分で、最小が初頭教育学科の32.6分でした。一方で「消極的」と回答した場合の平均値は、最大が法律専門職専攻の35.5分で、最小が健康体育学科の9.3分でした。

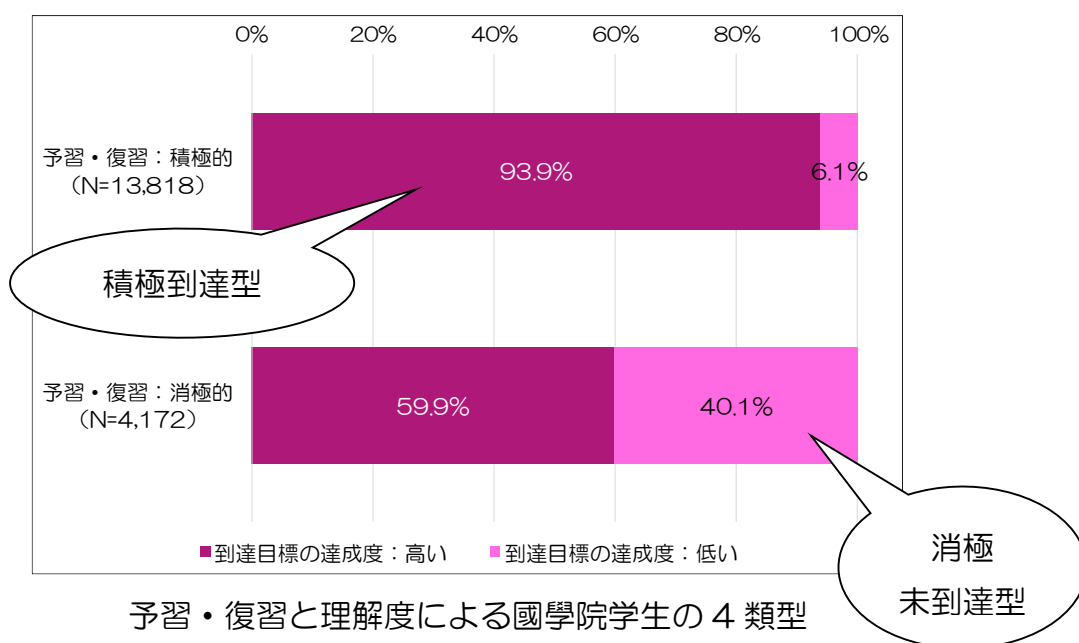


予習・復習の取組状況と学科・専攻別にみた授業外学修時間の平均値

4-9 学生の授業に対するかまえと到達目標の達成度による分析

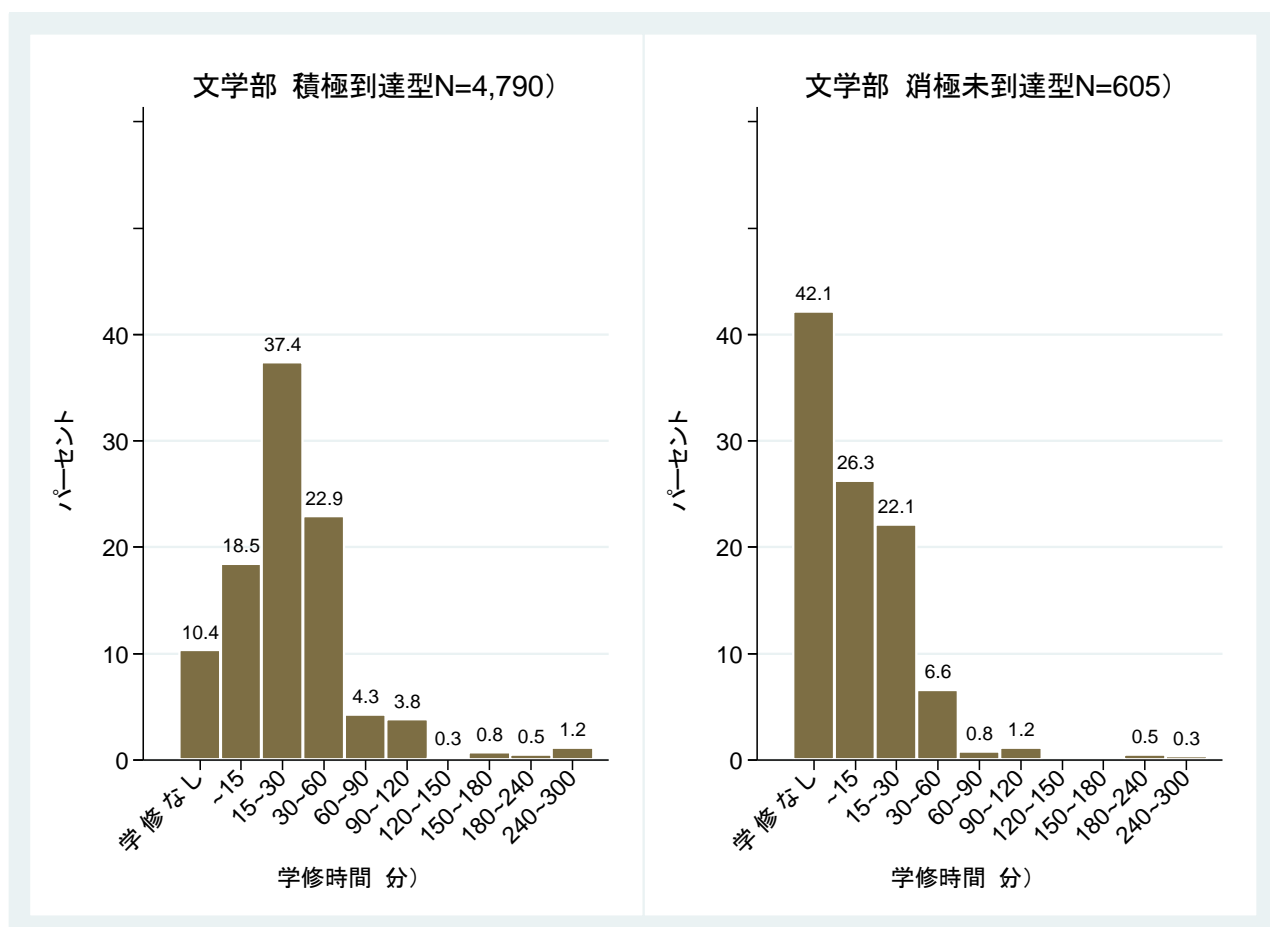
- ここではQ10と、Q13とを用いて、「学生の授業に対するかまえ」と「到達目標の達成度」（内容理解）との関係を検討してみます。
- 下の表と図は同じものを示しています。予習・復習への取り組みが積極的であると回答した学生では、その93.9%が到達目標を達成したと回答しています（積極到達型）。
- 一方で消極的であると回答した学生では、到達目標を達成したと回答した学生が59.9%にとどまり、到達目標の達成度が低いと認識した学生が40.1%という結果になりました（消極未到達型）。

		到達目標の達成度		合計
		低い	高い	
予習・復習 への取り組み	積極的	845件 6.1%	12,973件 93.9%	13,818件 100%
	消極的	1,674件 40.1%	2,498件 59.9%	4,172件 100%
合計		2,519件 14.0%	15,471件 86.0%	17,990件 100%



4-10 学生の授業に対するかまえと到達目標の達成度からみた授業外学修時間の分布 【文学部】

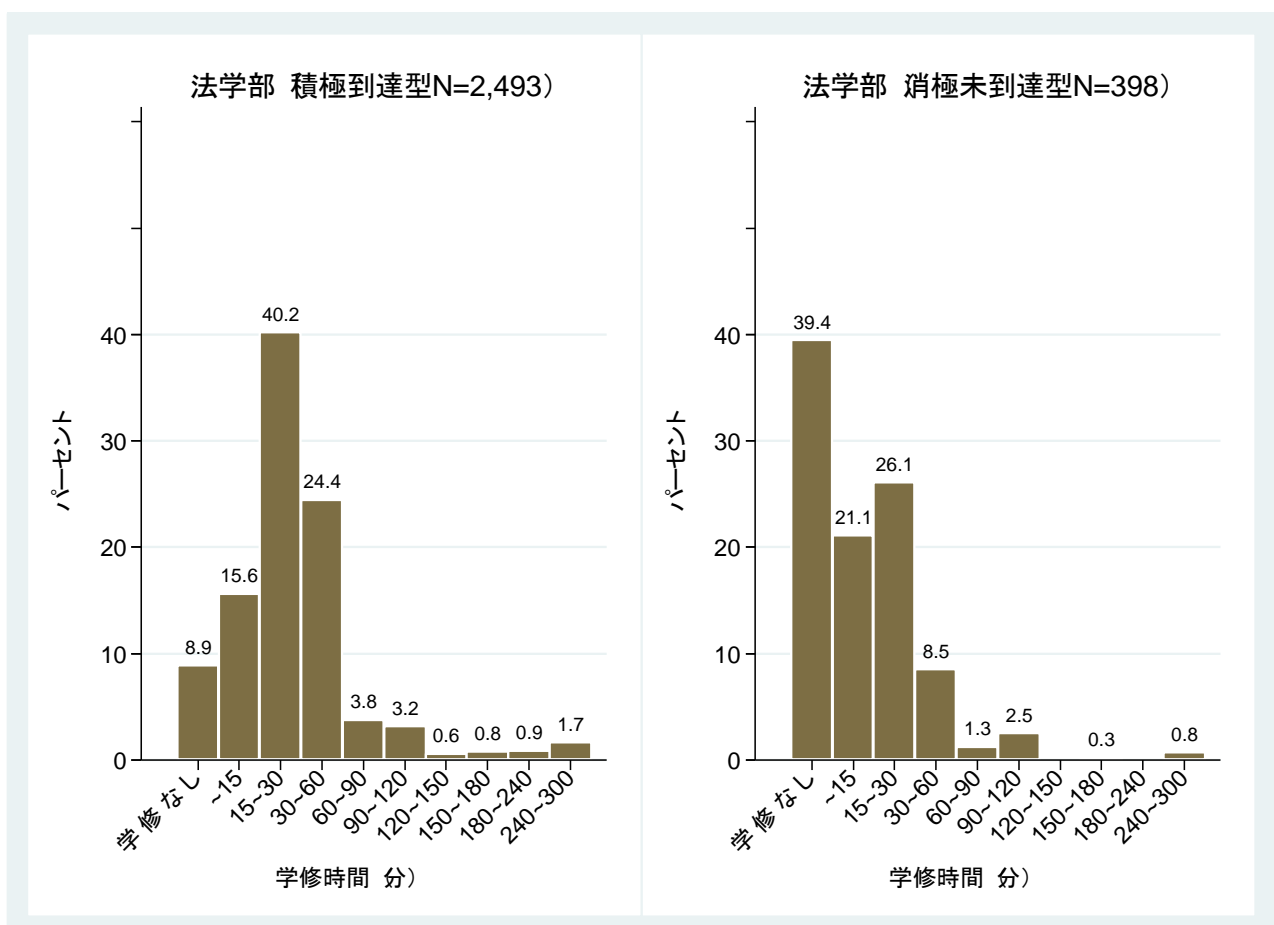
- 4-9では、「積極到達型」と「消極未到達型」の分類を検討しました。
- ここからは学部ごとにその分類を用いて、授業外学修時間の分布を検討します。
- 下の図は、アンケートに回答した文学部生を対象に検討した結果です。
- 「積極到達型」の授業外学修時間の平均値は39.3分で、最多は「15分～30分以内」の37.4%であり、それに「30分～60分以内」の22.9%が続きました。
- 「消極未到達型」の授業外学修時間の平均値は16.4分で、最多は「学修なし」の42.1%であり、それに「15分～30分以内」の22.1%が続きました。



積極到達型と消極未到達型の授業外学修時間の分布：文学部

【法学部】

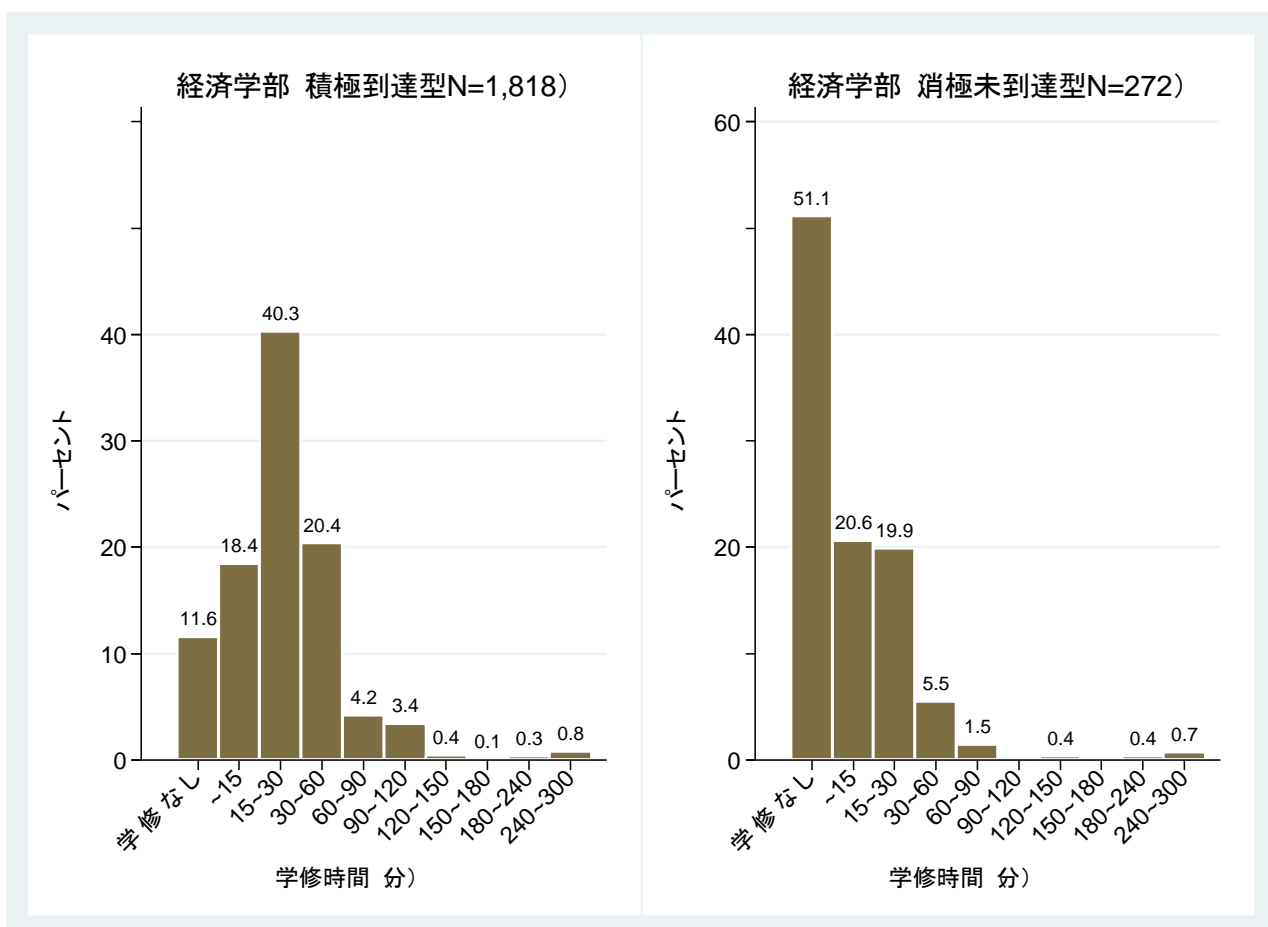
- 下の図は、アンケートに回答した法学部生を対象に検討した結果です。
- 「積極到達型」の授業外学修時間の平均値は 42.0 分で、最多は「15 分～30 分以内」の 40.2%であり、それに「30 分～60 分以内」の 24.4%が続きました。
- 「消極未到達型」の授業外学修時間の平均値は 20.4 分で、最多は「学修なし」の 39.4%であり、それに「15 分～30 分以内」の 26.1%が続きました。



積極到達型と消極未到達型の授業外学修時間の分布：法学部

【経済学部】

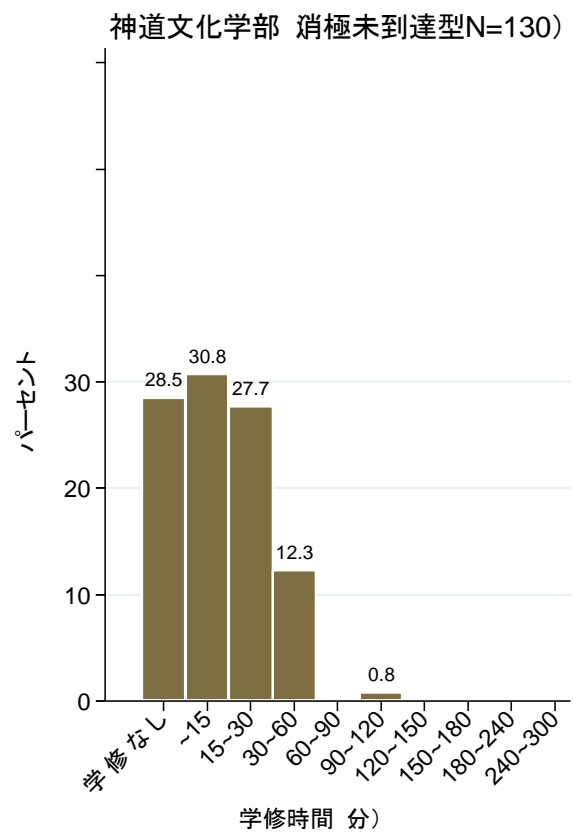
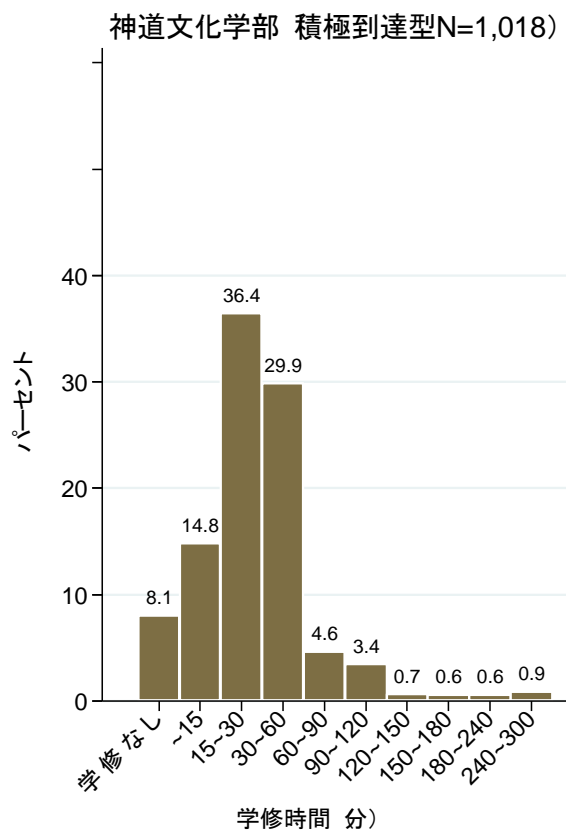
- 下の図は、アンケートに回答した経済学部生を対象に検討した結果です。
- 「積極到達型」の授業外学修時間の平均値は 36.0 分で、最多は「15 分～30 分以内」の 40.3%であり、それに「30 分～60 分以内」の 20.4%が続きました。
- 「消極未到達型」の授業外学修時間の平均値は 15.4 分で、最多は「学修なし」の 51.1%であり、それに「15 分以内」の 20.6%が続きました。



積極到達型と消極未到達型の授業外学修時間の分布：経済学部

【神道文化学部】

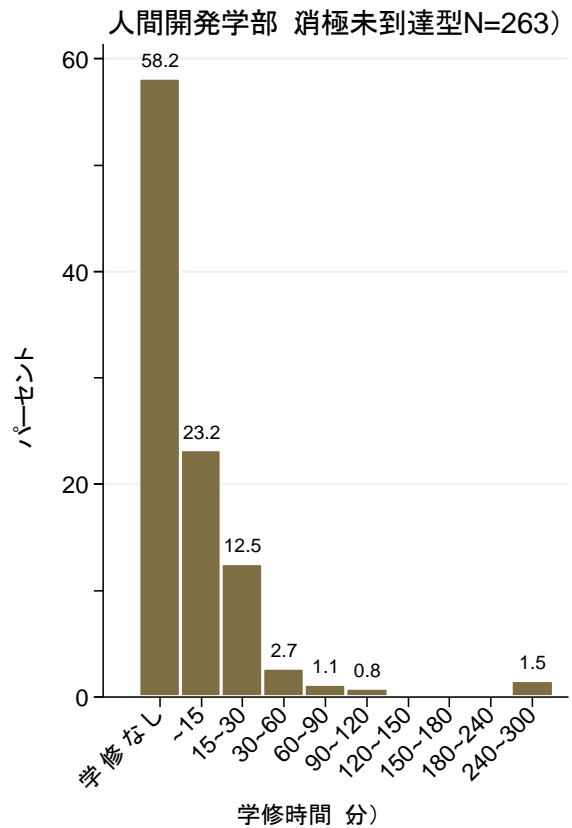
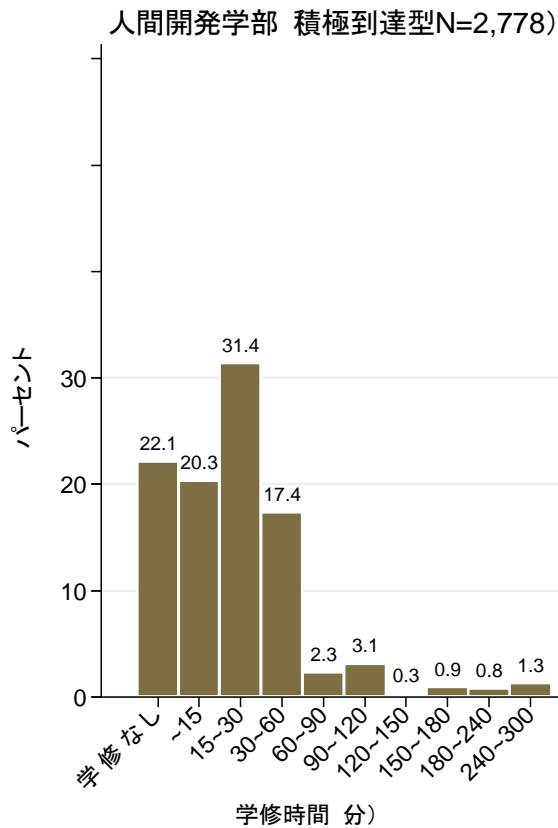
- 下の図は、アンケートに回答した神道文化学部生を対象に検討した結果です。
- 「積極到達型」の授業外学修時間の平均値は 41.6 分で、最多は「15 分～30 分以内」の 36.4%であり、それに「30 分～60 分以内」の 29.9%が続きました。
- 「消極未到達型」の授業外学修時間の平均値は 18.2 分で、最多は「15 分以内」の 30.8%であり、それに「学修なし」の 28.5%が続きました。



積極到達型と消極未到達型の授業外学修時間の分布：神道文化学部

【人間開発学部】

- 下の図は、アンケートに回答した人間開発学部生を対象に検討した結果です。
- 「積極到達型」の授業外学修時間の平均値は 33.8 分で、最多は「15 分～30 分以内」の 31.4% であり、それに「学修なし」の 22.1% が続きました。
- 「消極未到達型」の授業外学修時間の平均値は 13.5 分で、最多は「学修なし」の 58.2% であり、それに「15 分以内」の 23.2% が続きました。



積極到達型と消極未到達型の授業外学修時間の分布：人間開発学部

6. まとめ

これまで平成 29 年度後期授業評価アンケートについて、設問別にいくつかの観点から集計と分析を試みました。ここでは「まとめ」として、これまでの集計結果を簡潔に整理しておきたいと思います。

- 「2. 集計結果」では、Q15 の授業外学修時間と Q16、Q17 の自由記述を除く設問項目について検討してきました。それによると、全体的な傾向としては、過年度と同様に、総じて学生からは肯定的な回答（肯定回答が 80%以上）を得ていると考えることができるようです（2-1）。
- そうしたなかで、肯定回答が 80%を下回る設問項目も、過去と同様に確認できました。ただし今回の調査では、それに該当する設問項目は 2 つであり、平成 29 年度前期の 4 つと比べて半減しました。今回、肯定回答が 80%を下回った設問項目は、Q6「教員は予習・復習に関する指示を出していましたか」と、Q10「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか」です。Q2「教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか」と、Q4「あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか」は、今回の調査では 80%を上回ることができました。前回の報告書でも指摘してきましたが、Q6 と Q10 は密接に関連する設問項目です。したがって、教員の働きかけを問う設問項目である Q6 が改善されれば、学生の学修行動が改善され、Q10 の結果も改善されると推察します。ここでも本学教員の授業運営のあり方が問われていると考えることができないでしょうか。
- 以上を踏まえると、全体的な傾向として学生からは肯定的な回答を得ていると言えますが、学士課程教育の質保証という観点に立てば、教員一人ひとりが学生の学修行動の現実を十分に把握すること、そして何よりも自身の授業を振り返って、反省的実践を繰り返していくことが求められます（2-1）。

- これまでと同様に、Q13 と Q14 の結果から、到達目標の達成度及び満足度から見たベスト 30 を算出しました。専任教員と兼任教員とを総合した結果を見ると、到達目標の達成度ベスト 30 では、専任教員が 19 名、兼任教員が 11 名という結果になりました。また満足度ベスト 30 でも同様に、専任教員が 22 名、兼任教員が 8 名という結果になりました。満足度で専任教員の人数が増える結果となりました（2-2）。

- アンケートの回答件数が合計して 20 件以上の教員を対象に、到達目標の達成度、満足度、授業外学修時間とで教員の分布を行ったところ、専任教員は満足度で約 2.5～3.8、到達目標の達成度で約 2.4～3.6 の範囲で分布していました。平成 28 年度後期学生による授業評価アンケートの結果と比較すると、満足度、到達目標の達成度ともに、ばらつきが大きくなる傾向にあったようです（2-3）。
- 一方で、兼任教員は満足度で約 2.3～3.9、到達目標の達成度も同じく 2.3～3.9 の範囲で分布していました。授業外学修時間に関しては、兼任教員の場合は専任教員の場合と比べて、それほどばらつきが大きい傾向にあるようです（2-3）。

- 2-1 の結果を踏まえて、3-2～3-5 では、属性や設問項目間の関係性を検討するために、クロス集計による分析を試みました。
- 3-2 では、学年別にシラバスの事前確認の有無について同年度前期と比較する形式で検証しました。その結果、4 年生を除き、どの学年でも前期より後期のほうが、シラバスを事前確認しない傾向があることがわかりました。シラバスが履修授業選択の判断材料として適切に機能しているのか、検討が求められるところかもしれません。
- 3-3 では、学生の予習・復習の有無と到達目標の達成度との関係について検証しました。当然の結果ともいえますが、予習・復習をしたと回答した学生は、その 93.9%が授業の到達目標を達成したと認識しました。他方で予習・復習をしなかったと回答した学生では、授業の到達目標を達成したと回答した学生が、59.9%にまで減少しました。あらためて予習・復習の重要性が明らかになりました。
- 3-4 では、授業の進め方と到達目標の達成度との関係について検証しました。ここでも、教員が毎回の授業内容を関連付けて授業を実施した場合には、学生の 88.8%が授業の到達目標を達成したと認識していましたが、その逆であると到達目標を達成したと回答した学生の割合は、33.6%にまで減少する実態が明らかになりました。
- 3-5 では、教員の指示と学生に授業に対する構えについて、教員の所属学部別に検討しました。その結果、どの学部でも教員が予習・復習の指示を出したか否かで、学生の予習・復習への取り組みといった授業に対するかまえに、大きな差が生じることが明らか

かになりました。教員が予習・復習の指示を出した場合には、82.3%～89.1%の学生が予習・復習をするなどして意欲的に取り組んだと回答しました。それに対して教員が予習・復習の指示を出していない場合には、わずか29.4%～41.5%の学生しか予習・復習に取り組んでいないことが明らかになりました。

- 以上の結果について、より詳細な検討が必要であることは、言うまでもありません。ですが、過年度の分析とは若干視点を変更したものの、やはりシラバスの事前確認の必要性や、教員の予習・復習等の指示及びその結果としての学生の授業に対するかまえに差が見られました。また3-5の結果では、どの学部でも同一の関係性が確認できています。繰り返しますが、授業運営の振り返りの視点として、上記の結果は、重要な示唆を与えるものであり、多様な視点から教員一人ひとりが検討する必要があると言えるのではないのでしょうか。

- 授業外学修時間の検討も行いました。本学の平成29年度後期授業科目における授業1回あたりの授業外学修時間の平均値は、33.1分でした。ちなみに1年前の平成28年度後期のそれは33.0分でしたので、集計上はほとんど変更がないということになります(4-1)。なお学部別(4-2)、学科・専攻別(4-3)に分布をみると、ほとんどの集計区分で「15分～30分以内」と回答した割合が、最も多い傾向にありました。これも過年度とほぼ同じ傾向です。さらに学部学科に加えて、回答した学生の学年にも注目すると、その分布は、学部によってさまざまであることがわかりました(4-4及び4-5)。
- 過年度のアンケート結果をもとに、授業外学修時間の平均値及び分布について経年比較も行いました。平成29年度前期と比較して平均値が伸びていたのは、法学部と人間開発学部でした(4-6)。また分布については、どの学部でも「60分以上」と回答したケースは少なく、「15分～30分以内」と回答した学生が多くを占めていました(4-7)。
- 学生の授業に対するかまえと授業外学修時間との関係についても検討しました(4-8)。授業の対する構えが積極的な学生と、そうでない学生とでの授業外学修時間の差は、とても大きく、最大で38.8分もの差がありました。学科ごとに積極的な学生とそうでない学生とを比較すると、その差にはばらつきがありました。
- その授業に対するかまえについて、到達目標の達成度を考慮し、クロス集計を行いました

た。そこから予習・復習への取り組みが積極的で、到達目標の達成度合いを高く認識する学生を「積極到達型」、予習・復習への取り組みが消極的で、到達目標の達成度合いを低く認識する学生を「消極未到達型」として、学部別に授業外学修時間の検討を行いました（4-9 及び 4-10）。その結果、「積極到達型」では、「15分～30分以内」と回答したケースが多くを占め、「消極未到達型」では、「学修なし」と回答したケースがかなりの割合を占めていました。

以上が平成 29 年度後期学生による授業評価アンケートの集計結果から明らかになったことです。肯定回答が十分に得られなかった設問項目については、例年と同様に、教員一人ひとりの振り返りまたは改善が求められると言えそうです。また授業外学修時間については、どのような内容で、どの程度の時間を確保するかについて検討が必要だと思われます。これについては学生の皆さんが履修する個々の授業科目での検討はもちろん、履修登録したすべての授業科目を考慮したカリキュラムレベルでの検討も求められます。さらには学生の授業以外の生活時間との兼ね合いも考慮しなければなりません。本学では現在、精力的にカリキュラム改革が行われておりますが、今回のアンケート結果が、学修時間を考慮した授業設計のあり方について考える材料となるのであれば、これ以上のことはありません。

最後に平成 29 年度前期学生による授業評価アンケートへご協力いただいた先生方、そして何よりも真摯に回答して下さった学生の皆さんに心よりお礼申し上げます。

資料編

集計データ

1. 回答者のプロフィール

● 学年

学年	回答件数	%	男性		女性	
			回答件数	対全体%	回答件数	対全体%
1年生	6,611	36.7%	3,354	18.6%	3,257	18.1%
2年生	5,594	31.1%	2,635	14.6%	2,959	16.4%
3年生	3,884	21.6%	2,077	11.5%	1,807	10.0%
4年生	1,901	10.6%	1,191	6.6%	710	3.9%
合計	17,990	100.0%	9,257	51.5%	8,733	48.5%

● 所属学部

学部	回答件数	%	男性		女性	
			回答件数	対全体%	回答件数	対全体%
文学部	6,813	37.9%	2,706	15.0%	4,107	22.8%
法学部	3,487	19.4%	2,261	12.6%	1,226	6.8%
経済学部	2,588	14.4%	1,739	9.7%	849	4.7%
神道文化学部	1,424	7.9%	922	5.1%	502	2.8%
人間開発学部	3,678	20.4%	1,629	9.1%	2,049	11.4%
合計	17,990	100.0%	9,257	51.5%	8,733	48.5%

● 所属学科

学部	回答件数	%	男性		女性	
			回答件数	対全体%	回答件数	対全体%
日本文学科	2,978	16.6%	828	4.6	2,150	12.0
中国文学科	387	2.2%	157	0.9	230	1.3
外国語文化学科	915	5.1%	260	1.4	655	3.6
史学科	1,998	11.1%	1,235	6.9	763	4.2
哲学科	535	3.0%	226	1.3	309	1.7
法律専攻	2,833	15.7%	1,848	10.3	985	5.5
専門職専攻	244	1.4%	117	0.7	127	0.7
政治専攻	410	2.3%	296	1.6	114	0.6
経済学科	889	4.9%	676	3.8	213	1.2
経済ネットワーク学科	853	4.7%	553	3.1	300	1.7
経営学科	846	4.7%	510	2.8	336	1.9
神道文化学科	1,424	7.9%	922	5.1	502	2.8
初等教育学科	1,392	7.7%	588	3.3	804	4.5
健康体育学科	1,398	7.8%	951	5.3	447	2.5
子ども支援学科	888	4.9%	90	0.5	798	4.4
合計	17,990	100.0%	9,257	51.5	8,733	48.5

● 単純集計表

【学士課程教育全体】

No	設 問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わない	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	41.1%	49.0%	7.4%	2.6%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	38.3%	42.2%	14.3%	5.1%
Q3	教員の板書や教材（配布資料や映像・情報機器等）の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	42.7%	49.0%	6.1%	2.2%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	30.9%	51.0%	13.5%	4.6%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	34.9%	57.7%	5.6%	1.8%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	32.1%	47.4%	16.4%	4.1%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	30.7%	53.5%	12.5%	3.3%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容（単元）が整理されていましたか。	41.8%	51.9%	4.8%	1.5%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	42.3%	52.5%	3.8%	1.3%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	28.3%	48.5%	18.7%	4.5%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	29.0%	57.4%	10.5%	3.1%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	39.9%	49.6%	7.9%	2.6%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	26.8%	59.2%	11.7%	2.3%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	43.2%	48.7%	5.4%	2.7%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修（予習復習課題等）時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最大値	最小値
		33.1分	30.0分	300分	0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

*上記の集計結果は、学士課程学生のほか、別科・専攻科・科目等履修生も含めて集計した結果である。

【文学部学生】

No	設 問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わない	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	43.4%	48.0%	6.6%	2.0%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	40.4%	39.6%	14.3%	5.7%
Q3	教員の板書や教材（配布資料や映像・情報機器等）の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	45.5%	47.3%	5.4%	1.9%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	34.2%	50.2%	11.8%	3.8%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	36.5%	56.7%	5.6%	1.3%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	33.3%	44.4%	17.9%	4.4%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	30.7%	54.1%	12.6%	2.7%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容（単元）が整理されていましたか。	43.4%	50.4%	4.9%	1.3%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	44.5%	50.5%	3.8%	1.2%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	28.6%	47.8%	19.4%	4.3%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	29.6%	57.3%	10.2%	2.8%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	42.1%	48.0%	7.7%	2.3%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	26.1%	59.3%	12.7%	1.9%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	45.1%	47.1%	5.3%	2.5%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修（予習復習課題等）時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最大値	最小値
		33.6分	30.0分	300分	0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

*上記の集計結果は、回答した学生の所属学部（この場合は文学部）によって集計した結果である。

【法学部学生】

No	設 問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わない	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	39.1%	50.8%	7.5%	2.7%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	35.5%	42.5%	15.9%	6.1%
Q3	教員の板書や教材（配布資料や映像・情報機器等）の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	40.3%	50.9%	6.6%	2.2%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	31.7%	52.1%	11.5%	4.8%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	35.0%	58.7%	4.7%	1.6%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	32.6%	48.2%	15.5%	3.8%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	27.9%	54.6%	14.1%	3.4%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容（単元）が整理されていましたか。	38.9%	54.9%	4.9%	1.2%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	39.2%	55.9%	3.6%	1.3%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	27.8%	49.2%	18.6%	4.5%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	25.7%	57.2%	13.6%	3.5%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	34.7%	53.3%	9.3%	2.7%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	24.9%	58.8%	13.7%	2.7%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	39.6%	52.2%	5.7%	2.6%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修（予習復習課題等）時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最大値	最小値
		36.6分	30.0分	300分	0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

*上記の集計結果は、回答した学生の所属学部（この場合は法学部）によって集計した結果である。

【経済学部学生】

No	設 問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わない	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	37.4%	51.3%	7.8%	3.5%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	31.5%	46.3%	16.4%	5.8%
Q3	教員の板書や教材（配布資料や映像・情報機器等）の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	37.9%	52.2%	6.8%	3.1%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	29.0%	55.3%	12.0%	3.7%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	33.8%	58.4%	5.8%	2.1%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	28.3%	51.7%	15.7%	4.4%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	27.6%	55.1%	12.9%	4.4%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容（単元）が整理されていましたか。	38.5%	54.4%	5.1%	2.0%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	37.1%	56.8%	4.4%	1.7%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	23.5%	51.2%	19.7%	5.6%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	25.5%	60.3%	10.7%	3.5%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	34.2%	52.9%	9.0%	3.8%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	25.0%	60.4%	11.2%	3.3%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	37.7%	52.6%	5.8%	3.9%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修（予習復習課題等）時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最大値	最小値
		30.6分	30.0分	300分	0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

*上記の集計結果は、回答した学生の所属学部（この場合は経済学部）によって集計した結果である。

【神道文化学部学生】

No	設 問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わない	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	40.2%	50.3%	7.3%	2.3%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	35.5%	45.9%	14.3%	4.2%
Q3	教員の板書や教材（配布資料や映像・情報機器等）の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	44.0%	47.6%	6.7%	1.8%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	27.2%	54.2%	14.2%	4.4%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	34.2%	59.0%	5.3%	1.5%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	28.6%	52.6%	15.9%	3.0%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	27.2%	54.7%	15.0%	3.2%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容（単元）が整理されていましたか。	40.2%	54.4%	4.4%	1.0%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	40.9%	55.2%	3.1%	0.8%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	26.0%	51.5%	18.3%	4.1%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	26.7%	59.6%	10.7%	3.0%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	40.0%	49.7%	8.2%	2.1%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	22.5%	62.9%	12.8%	1.8%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	46.0%	47.1%	5.1%	1.9%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修（予習復習課題等）時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最大値	最小値
		36.5分	30.0分	300分	0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。	/			
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

*上記の集計結果は、回答した学生の所属学部（この場合は神道文化学部）によって集計した結果である。

【人間開発学部学生】

No	設 問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わない	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	41.5%	47.0%	8.5%	3.0%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	42.9%	42.4%	11.5%	3.2%
Q3	教員の板書や教材（配布資料や映像・情報機器等）の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	42.5%	48.8%	6.0%	2.6%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	26.8%	47.2%	19.3%	6.8%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	32.8%	57.9%	6.6%	2.7%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	33.4%	47.2%	15.5%	3.9%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	37.1%	49.6%	9.9%	3.5%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容（単元）が整理されていましたか。	44.3%	49.1%	4.7%	2.0%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	45.4%	49.1%	3.9%	1.6%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	32.3%	46.4%	17.1%	4.2%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	34.2%	54.8%	8.0%	3.1%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	44.6%	46.7%	6.1%	2.6%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	32.9%	57.2%	8.0%	2.0%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	46.1%	46.4%	4.9%	2.6%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修（予習復習課題等）時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最大値	最小値
		29.5分	15.0分	300分	0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

*上記の集計結果は、回答した学生の所属学部（この場合は人間開発学部）によって集計した結果である。

分析・執筆 戸村 理 教育開発推進機構准教授

平成 29 年度 教育開発センター委員

(委員長) 柴崎 和夫 教育開発推進機構長・教育開発センター長
仙北谷穂高 教育開発センター副センター長・教学事務部次長
大久保桂子 共通教育センター長・教務部長
青木 豊 文学部教授
安田 恵美 法学部教授
中馬 祥子 経済学部教授
遠藤 潤 神道文化学部准教授
神事 努 人間開発学部准教授
新井 大祐 教育開発推進機構准教授
小濱 歩 教育開発推進機構准教授
戸村 理 教育開発推進機構助教
原田 佳昌 教育開発推進機構事務課課長
大橋 聖加 教育開発推進機構事務課書記

* 職名は当時

平成 29 (2017) 年度後期
学生による授業評価アンケート分析報告書

編集・発行 國學院大學 教育開発推進機構
教育開発センター

平成 30 年 7 月 25 日

